

令和元年 11 月 29 日

薬事・食品衛生審議会  
食品衛生分科会長 村田 勝敬 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会  
農薬・動物用医薬品部会長 穂山 浩

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会  
農薬・動物用医薬品部会報告について

令和元年 10 月 10 日付け厚生労働省発生食 1010 第 1 号をもって諮問された、食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）第 11 条第 1 項の規定に基づくイミノクタジンに係る食品中の農薬の残留基準の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

# イミノクタジン

今般の残留基準値の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品中の農薬等のポジティブリスト制度導入時に新たに設定された基準値（いわゆる暫定基準）の見直しを含め、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

## 1. 概要

イミノクタジンは、アルベシル酸塩及び酢酸塩として製剤化され使用される。

### (1) 品目名：

イミノクタジン[ Iminoctadine (ISO) ]

イミノクタジンアルベシル酸塩[ Iminoctadine tris(albesilate) (ISO) ]

イミノクタジン酢酸塩[ Iminoctadine triacetate (ISO) ]

### (2) 用途：殺菌剤

イミノクタジンは、グアニジン系殺菌剤であり、酢酸塩及びアルベシル酸塩として使用されている。生物活性は遊離塩基のイミノクタジンに基づくものであり、病原菌の脂質生合成系や細胞膜機能に作用し、胞子の発芽、発芽管の伸長等を抑制することで殺菌効果を示すと考えられている。

### (3) 化学名及びCAS番号

#### イミノクタジン

1,1'-(Iminodioctamethylene)diguanidine (IUPAC)

Guanidine, *N,N''*'-(iminodi-8,1-octanediy1)bis- (CAS : No. 13516-27-3)

#### イミノクタジンアルベシル酸塩

1,1'-Iminodi(octamethylene)diguanidine tris(alkylbenzenesulfonate) (IUPAC)

Benzenesulfonic acid, dodecyl-, compd. with *N,N''*'-

(iminodi-8,1-octanediy1)bis[guanidine] (3:1) (CAS : No. 169202-06-6)

#### イミノクタジン酢酸塩

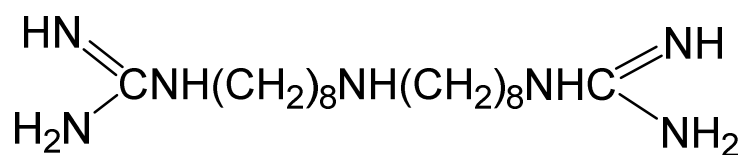
1,1'-Iminodi(octamethylene)diguanidine triacetate (IUPAC)

Guanidine, *N,N''*'-(iminodi-8,1-octanediy1)bis-, acetate (1:3)

(CAS : No. 57520-17-9)

(4) 構造式及び物性

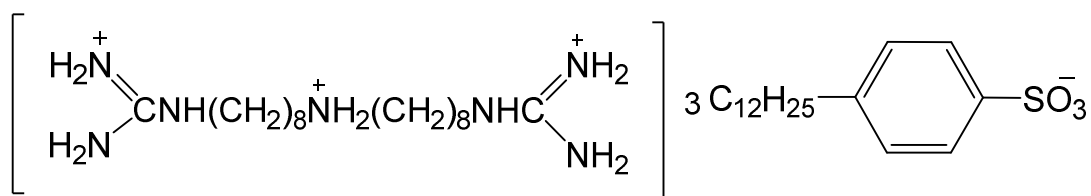
イミノクタジン



分子式  $\text{C}_{18}\text{H}_{41}\text{N}_7$

分子量 355.58

イミノクタジンアルベシル酸塩



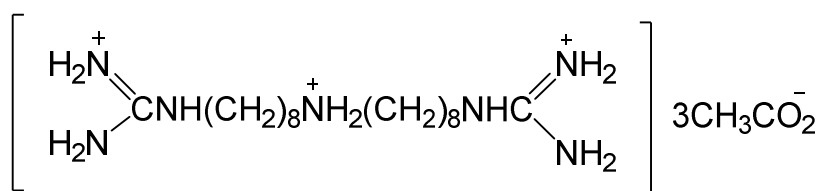
分子式  $\text{C}_{72}\text{H}_{131}\text{N}_7\text{O}_9\text{S}_3$

分子量 1335.1

水溶解度  $6 \times 10^{-3}$  g/L (20°C)

分配係数  $\log_{10}\text{Pow} = 1.14$  (25°C)

イミノクタジン酢酸塩



分子式  $\text{C}_{24}\text{H}_{53}\text{N}_7\text{O}_6$

分子量 535.7

水溶解度  $5.5 \times 10^2$  g/L (20°C)

分配係数  $\log_{10}\text{Pow} < -2$  (20°C)

## 2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用法は以下のとおり。

**作物名**、**使用時期**となっているものについては、今回農薬取締法（昭和23年法律第82号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

### (1) 国内での使用方法

#### ① 40.0%イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数
りんご	黒星病	2000倍	200～700 L/10 a	収穫前日 まで	6回以内 (ただし、 開花期 以降 散布は 3回以内)	散布	8回以内 (液剤及び 水和剤は合 計6回以内 (開花期以 降は3回以 内)、塗布剤 は2回以内)
	斑点落 葉病	1000～ 2000倍					
	輪紋病 褐斑病 すす点病 すす斑病 黒点病	1000倍					
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病 うどんこ病	1000～ 1500倍		収穫14日前 まで	5回以内		5回以内 (塗布剤は2 回以内、液 剤は1回以 内)
もも	黒星病	2000倍		収穫前日 まで	3回以内		3回以内 (休眠期は1 回以内)
	灰星病 ホブシ腐 敗病 うどんこ病 すすかび病 果実赤 点病	1000～ 2000倍					
おうとう	灰星病	1000倍		収穫7日 前まで	3回以内		3回以内
みかん	灰色かび病	1000～ 2000倍	収穫前日 まで				
	そうか病	1000倍					
かんきつ (みかんを 除く)	灰色かび病	2000倍		2回以内	2回以内		

① 40.0%イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤（つづき）

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジンを含 む農薬の 総使用回数	
かき	炭疽病 落葉病 うどんこ病 灰色かび病 すす点病 黒星病	1000～ 1500倍	200～700 L/10 a	収穫14日 前まで	3回以内	散布	3回以内	
キウフルーツ	果実軟腐病 灰色かび病 貯蔵病害 (灰色か び病)	1000倍		収穫前日 まで	5回以内		5回以内	
小粒核果 類(うめ、 すももを 除く)	黒星病 灰星病 灰色かび病 環紋葉枯病 すす斑病	2000倍		収穫30日 前まで	3回以内		3回以内	3回以内
うめ	枝枯病							
すもも	灰星病	1000～ 2000倍		収穫3日 前まで	2回以内		2回以内	
びわ	灰斑病 灰色かび病	1000倍		収穫7日 前まで				
マンゴー	炭疽病			3000倍	収穫14日 前まで		2回以内	2回以内
あけび (果実)	うどんこ病	収穫14日 前まで						
すいか	うどんこ病 つる枯病 菌核病 炭疽病	1000倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	4回以内	4回以内		
メロン	うどんこ病 つる枯病				5回以内	5回以内		

① 40.0%イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤 (つづき)

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジンを含む農薬の 総使用回数			
かぼちゃ	うどんこ病	1000～ 2000倍	100～300 L/10 a	収穫7日 前まで	4回以内	散布	4回以内			
ズッキーニ		2000倍		収穫前日 まで	7回以内		7回以内			
きゅうり	褐斑病	2000～ 4000倍						収穫3日 前まで	5回以内	5回以内
	うどんこ病 灰色かび病 炭疽病									
うり類 (漬物用)	うどんこ病 つる枯病 炭疽病	1000倍		100～500 L/10 a	収穫7日 前まで		5回以内	5回以内		
なす	すすかび病 灰色かび病 うどんこ病		100～300 L/10 a			収穫前日 まで			3回以内	3回以内
アスパラガス	茎枯病 斑点病 褐斑病	2000倍		100～300 L/10 a	収穫30日 前まで		3回以内	3回以内		
たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病 小菌核病		1000倍			100～300 L/10 a			収穫14日 前まで	5回以内
ねぎ	葉枯病 さび病 黒斑病	1000倍		100～300 L/10 a	収穫3日 前まで		5回以内	5回以内		
にんにく	葉枯病		1000倍			乾燥種子重 量の0.5%			は種前	1回
にんじん	菌核病	500～ 1000倍		100～300 L/10 a	収穫14日 前まで		3回以内	3回以内		
	黒葉枯病	—	100～300 L/10 a			収穫14日 前まで			3回以内	3回以内
トマト	葉かび病	3000～ 6000倍		100～300 L/10 a	収穫前日 まで		3回以内	散布		
ミニトマト	灰色かび病	6000倍	2回以内			2回以内				
レタス	灰色かび病 菌核病	1000～ 2000倍	収穫14日 前まで		3回以内	3回以内				
キャベツ	菌核病	1000倍								

注) — : 規定されていない項目

① 40.0%イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤（つづき）

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジンを含む農薬の 総使用回数
いちご	炭疽病 うどんこ病	1000倍	100～300 L/10 a	育苗期 (定植前)	5回以内	散布	10回以内 (育苗期は5 回以内、本 圃では5回 以内)
	うどんこ病	4000倍		収穫前日 まで (生育期)			
豆類 (種実、 ただし、 だいずを 除く)	うどんこ病 炭疽病 褐斑病	1000倍		収穫7日 前まで	3回以内		4回以内
だいず	紫斑病	—	乾燥種子重 量の0.5%	は種前	1回	種子 粉衣 4回以内 (種子粉衣 は1回以内)	
ばれい しょ	夏疫病	500倍	100～300 L/10 a	収穫7日 前まで	5回以内	散布	5回以内
やまの いも	葉渋病	1000～ 2000倍					5回以内 (種いもへ の処理は1 回以内、無 人航空機散 布は3回以 内)
		青かび病	—	種いも 重量の1%	植付前	1回	種いも 粉衣
てんさい	斑点病 褐斑病	1000倍	100～300 L/10 a	収穫14日 前 まで	4回以内	散布	4回以内
小麦	赤かび病	1000～ 2000倍	60～180 L/10 a	収穫21日 前 まで	3回以内 (出穂期 以降は 1回以内)		4回以内 (種子への 処理は1回 以内、散布 及び無人航 空機散布は 合計3回以 内、出穂期 以降は1回 以内)
茶	炭疽病 輪斑病 新梢枯 死症 (輪斑病菌 による)	1000倍	200～400 L/10 a	摘採7日 前 まで	2回以内		2回以内

② 30.0%イミノクタジンアルベシル酸塩フロアブル

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の総使 用回数
りんご	斑点落 葉病 黒星病 輪紋病 褐斑病 すす点病 すす斑病	1000～ 1500倍	200～700 L/10 a	収穫前日 まで	6回以内 (ただし、 開花期以 降散布は3 回以内)	散布	8回以内 (液剤及び 水和剤は 合計6回以 内(開花期 以降は3回 以内)、塗 布剤は2回 以内)
	黒点病	1000倍					
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病 うどんこ病	1500倍		収穫14日 前まで	5回以内		5回以内 (塗布剤は 2回以内、 液剤は1回 以内)
すもも	灰星病	2000倍		収穫3日 前まで	3回以内		3回以内
うめ	黒星病 灰色かび病 すす斑病			収穫30日 前まで			
小粒核 果類 (うめ、 すももを 除く)	灰星病						
おうとう		1000～ 2000倍		収穫7日 前まで	3回以内 (休眠期は 1回以内)		
もも	灰星病 ホトブシ腐 敗病			収穫前日 まで			
初刈り	黒星病	1500～ 2000倍		2回以内	2回以内		



② 30.0%イミノクタジンアルベシル酸塩フロアブル (つづき)

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノク タジン を含む農 薬の総使 用回数
みかん	そうか病 貯蔵病害 (軸腐病)	1000倍	200～700 L/10 a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
	灰色かび病 貯蔵病害 (青かび病) 貯蔵病害 (緑かび病) 貯蔵病害 (黒腐病)	1000～ 2000倍					
	灰色かび病	10倍	4 L/10 a	収穫3日 前まで		無人航空 機による 散布	
		20倍	8 L/10 a				
	貯蔵病害 (青かび病) 貯蔵病害 (緑かび病)	10倍	5 L/10 a				
		20倍	10 L/10 a				
かんきつ (みかんを 除く)	そうか病 貯蔵病害 (軸腐病) 幹腐病	1000倍	200～700 L/10 a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
	灰色かび病 貯蔵病害 (青かび病) 貯蔵病害 (緑かび病) 貯蔵病害 (黒腐病)	1000～ 2000倍					
くり	実炭疽病	1000倍	100～300 L/10 a	収穫14日 前まで	3回以内		3回以内
キャベツ	菌核病			収穫28日 前まで			
にんじん	黒葉枯病 うどんこ病 斑点病 菌核病						
	斑点病	8倍	2 L/10 a	2回以内	無人航空 機による 散布	5回以内 (種子粉衣 は1回以 内、無人航 空機散布 は2回以 内)	

② 30.0%イミノクタジンアルベシル酸塩フロアブル (つづき)

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の総使用 回数		
らっきょう	灰色かび病	1000倍	100～300 L/10 a	収穫7日 前まで	5回以内	散布	5回以内		
たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病 小菌核病			収穫前日 まで				4回以内	4回以内
すいか	炭疽病 うどんこ病 菌核病 つる枯病				5回以内		5回以内		
メロン	うどんこ病 菌核病 つる枯病								
かぼちゃ	うどんこ病			7回以内	7回以内				
きゅうり	灰色かび病 うどんこ病 褐斑病 炭疽病 菌核病 黒星病	4000倍					収穫前日 まで	3回以内	3回以内
にがうり	うどんこ病			2000～ 4000倍	2回以内				
なす	灰色かび病 うどんこ病 すすかび病 黒枯病	4000倍					2回以内	2回以内	
トマト	灰色かび病 葉かび病			1000倍	育苗期 (定植前)				5回以内
ミニトマト	うどんこ病 すすかび病 斑点病	2000～ 4000倍					収穫前日 まで (生育期)		
いちご	炭疽病 うどんこ病 輪斑病		2000倍						
	うどんこ病								
	灰色かび病 炭疽病 黒斑病								

② 30.0%イミノクタジンアルベシル酸塩フロアブル (つづき)

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の総使 用回数
アスパラガス	褐斑病 斑点病	1000倍	100～300 L/10 a	収穫7日 前まで	5回以内	散布	5回以内
	斑点病	8倍	1.6 L/10 a			無人航空 機による 散布	
やまの いも	炭疽病 葉渋病	1000倍	100～300 L/10 a	収穫7日 前まで	3回以内	散布	5回以内 (種いもへ の処理は1 回以内、無 人航空機 散布は3回 以内)
	葉渋病	12倍	3 L/10 a			無人航空 機による 散布	
やまの いも (むかご)	青かび病	200倍	—	植付前	1回	1～10分間 種いも浸 漬	1回
だいず	腐敗粒 紫斑病 子実汚 斑病	1000倍	100～300 L/10 a	収穫7日 前まで	4回以内	散布	4回以内 (種子粉衣 は1回以 内)
	紫斑病	6倍	0.8 L/10 a			無人航空 機による 散布	
		12倍	1.6 L/10 a				
茶	炭疽病 新梢枯 死症 輪斑病	1500～ 2000倍	200～400 L/10 a	摘採7日 前まで	2回以内	散布	2回以内

③ 20.0%イミノクタジンアルベシル酸塩・30.0%イプロジオン水和剤

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の総使 用回数	
かんきつ (みかんを 除く)	灰色かび病	1000～ 2000倍	200～700 L/10 a	収穫7日 前まで	2回以内	散布	2回以内	
みかん					3回以内		3回以内	
日本なし	黒斑病			収穫14日 前まで	4回以内		5回以内 (塗布剤は 2回以内、 液剤は1回 以内)	
西洋なし				収穫30日 前まで				
もも	灰星病 ホモシ腐 敗病			2000倍	収穫前日 まで		3回以内	3回以内 (休眠期は 1回以内)
おうとう	灰星病			1000倍	収穫7日 前まで			3回以内
いんげん まめ	菌核病	800倍	収穫21日 前まで		3回以内			
きゅうり	灰色かび病 菌核病 うどんこ病	2000倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	4回以内		7回以内	
すいか	つる枯病	1000倍			4回以内			
トマト	灰色かび病	2000～ 3000倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	3回以内		3回以内	
レタス		1000倍					収穫30日 前まで	5回以内
たまねぎ							灰色かび病 灰色腐敗病	

④ 20.0%イミノクタジンアルベシル酸塩・45.0%キャプタン水和剤

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の総使用 回数
りんご	黒星病	1000倍	200～700 L/10 a	収穫前日 まで	6回以内 (ただし、 開花期以 降散布は3 回以内)	散布	8回以内 (液剤及び 水和剤は 合計6回以 内(開花期 以降は3回 以内)、塗 布剤は2回 以内)
	すす点病 すす斑病 斑点落葉病 炭疽病 褐斑病 黒点病 輪紋病	800～ 1000倍					
おうとう	灰星病 幼果菌核病	1000倍		収穫14日 前まで	3回以内		3回以内
なし	輪紋病 黒星病 うどんこ病 黒斑病 炭疽病				4回以内		5回以内 (塗布剤は 2回以内、 液剤は1回 以内)
					3回以内		3回以内
かき	うどんこ病			3回以内	3回以内		
もも	縮葉病			1回	3回以内 (休眠期は 1回以内)		
ぶどう	べと病 黒とう病 晩腐病			2回以内	3回以内 (休眠期は 1回以内、 生育期は2 回以内)		
きゅうり	褐斑病 炭疽病 うどんこ病 べと病	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	5回以内	7回以内		
たまねぎ	灰色かび病					5回以内	

⑤ 20.0%イミノクタジンアルベシル酸塩・50.0%チウラム水和剤

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の総使用 回数
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病	500～ 1000倍	200～700 L/10 a	収穫45日 前まで	4回以内	散布	5回以内 (塗布剤は 2回以内、 液剤は1回 以内)

⑥ 20.0%イミノクタジンアルベシル酸塩・30.0%フェンヘキサミド水和剤

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の総使 用回数	
りんご	斑点落葉病	1000倍	200～700 L/10 a	収穫前日 まで	2回以内	散布	8回以内 (液剤及び 水和剤は 合計6回以 内(開花期 以降は3回 以内) 塗布 剤は2回以 内)	
みかん	灰色かび病 そうか病	1500倍		収穫14日 前まで			3回以内	
	汚れ果症						2回以内	
かんきつ (みかんを 除く)	灰色かび病 そうか病	1000倍		1500倍			収穫前日 まで	3回以内 (休眠期は 1回以内)
	汚れ果症	3回以内						
もも	灰星病 モブシ腐 敗病 黒星病	1500倍		150～300 L/10 a			収穫7日前 まで	7回以内
おうとう	幼果菌核病		3回以内					
きゅうり	灰色かび病 うどんこ病 菌核病	2000倍	150～300 L/10 a	収穫前日 まで	3回以内	10回以内 (育苗期は 5回以内、 本圃では5 回以内)		
トマト	灰色かび病 葉かび病							
なす	灰色かび病 すすかび病							
いちご	灰色かび病 うどんこ病							

⑦ 15.0%イミノクタジンアルベシル酸塩・10.0%ピリベンカルブ顆粒水和剤

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農 薬の総使 用回数
きゅうり	菌核病 褐斑病 黒星病 灰色かび病 うどんこ病 炭疽病	1000倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	3回以内	散布	7回以内
いちご	灰色かび病 うどんこ病 炭疽病						10回以内 (育苗期は 5回以内、 本圃では5 回以内)
トマト	灰色かび病 すすかび病 うどんこ病 葉かび病 菌核病						3回以内
すいか	菌核病 うどんこ病				4回以内		
メロン	つる枯病				5回以内		

⑧ 12.5%イミノクタジンアルベシル酸塩・15.0%ポリオキシシン複合体顆粒水和剤

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農 薬の総使 用回数
きゅうり	うどんこ病 菌核病	1000～ 1500倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	2回以内	散布	7回以内
	灰色かび病 褐斑病 炭疽病	1000倍					
トマト	灰色かび病 すすかび病 うどんこ病 葉かび病 菌核病 アザミヤカ類	1500倍			3回以内		3回以内

⑧ 12.5%イミノクタジンアルベシル酸塩・15.0%ポリオキシシン複合体顆粒水和剤  
(つづき)

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農 薬の総使 用回数
なす	灰色かび病 すすかび病 菌核病	1000～ 1500倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
	うどんこ病	1500倍					
	アザミヤカ類	1000倍					
メロン	うどんこ病 つる枯病	1500倍		5回以内	5回以内		
ねぎ	さび病 黒斑病			3回以内	3回以内		
いちご	うどんこ病	2000倍		育苗期 (定植前)	1回		10回以内 (育苗期は 5回以内、 本圃では5 回以内)
			収穫開始 14日前ま で	3回以内			

⑨ 10.0%イミノクタジンアルベシル酸塩・55.0%マンゼブ水和剤

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農 薬の総使 用回数
かんきつ (みかんを 除く)	そうか病 黒点病 灰色かび 病	500～ 600倍	200～700 L/10 a	収穫90日 前まで	2回以内	散布	2回以内
みかん							3回以内
りんご	黒星病 斑点落葉 病	500倍		収穫30日 前まで	3回以内		8回以内 (液剤及び 水和剤は 合計6回以 内(開花期 以降は3回 以内)、塗 布剤は2回 以内)



⑨ 10.0%イミノクタジンアルベシル酸塩・55.0%マンゼブ水和剤（つづき）

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の総使 用回数
ばれい しょ	疫病 夏疫病	500倍	150～300 L/10 a	収穫7日前 まで	5回以内	散布	5回以内
きゅうり	うどんこ病 べと病 灰色かび 病	500～ 1000倍		収穫前日 まで	3回以内		7回以内
ねぎ	黒斑病 さび病 べと病 小菌核腐 敗病	500倍		収穫30日 前まで			3回以内

⑩ 2.0%イミノクタジンアルベシル酸塩・3.0%MEP 粉剤

作物名	適用	使用量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジンを含 む農薬の総使 用回数
だいず	マシクイカ カムシ類 紫斑病	3 kg/10 a	開花期～ 若莢期 ただし、 収穫21日前 まで	4回以内	散布	4回以内 (種子粉衣は1 回以内)

⑪ 25.0% イミノクタジン酢酸塩液剤

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の総使 用回数
麦類 (小麦を 除く)	雪腐大粒菌 核病 紅色雪腐病	1000倍	60～150 L/10 a	根雪前	2回以内	散布	3回以内 (種子への 処理は1回 以内、散布 は2回以 内)
	紅色雪腐病	10倍	乾燥種子 1 kg当たり 30～50 mL	は種前	1回	塗沫処理	
		5倍	乾燥種子 1 kg当たり 15～25 mL				
	紅色雪腐病 条斑病 斑葉病 網斑病 ふ枯病 なまぐさ黒 穂病	原液	乾燥種子 1 kg当たり 3～5 mL			種子吹き 付け処理 又は塗沫 処理	
	斑葉病	250～ 500倍	—			10～ 30分間 種子浸漬	
	なまぐさ黒 穂病	1000～ 2000倍					
小麦	紅色雪腐病	250倍	25 L/10 a			根雪前	3回以内 (ただし、 出穂期 以降は 1回以内)
	雪腐大粒菌 核病 紅色雪腐病	1000倍	60～150 L/10 a				
	うどんこ病 葉枯症						
	赤かび病	1000～ 2000倍	収穫14日 前まで				
	紅色雪腐病	10倍	乾燥種子 1 kg当たり 30～50 mL	は種前	1回	塗沫処理	
		5倍	乾燥種子 1 kg当たり 15～25 mL				
	紅色雪腐病 条斑病 ふ枯病 なまぐさ黒 穂病	原液	乾燥種子 1 kg当たり 3～5 mL	種子吹き 付け処理 又は塗沫 処理			
	なまぐさ黒 穂病	1000～ 2000倍	—	10～ 30分間 種子浸漬			

⑪ 25.0%イミノクタジン酢酸塩液剤 (つづき)

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農 薬の総使 用回数
りんご	モリア病 腐らん病 黒星病 うどんこ病	1000倍	200～700 L/10 a	展葉期	6回以内 (ただし、 開花期 以降 散布は 3回以内)	散布	8回以内 (液剤及び 水和剤は 合計6回以 内(開花期 以降は3回 以内)、塗 布剤は2回 以内)
	腐らん病	500～ 1000倍		休眠期			
	斑点落葉病 褐斑病 輪紋病 すす点病 すす斑病	1500～ 2000倍		収穫前日 まで			
	黒星病	1500倍					
	紫紋羽病	250倍	—	苗木 植付前	—	根部浸漬	
	ぶどう	晩腐病	250～ 500倍	200～700 L/10 a	休眠期	1回	
褐斑病 黒とう病 つる割病		250倍	収穫60日 前まで			2回以内	
黒とう病 枝膨病		1000倍					
なし	黒斑病	250倍	200～700 L/10 a	休眠期	1回	散布	5回以内 (塗布剤は 2回以内、 液剤は1回 以内)
	黒星病	1000倍		収穫後～ 休眠期			
もも	縮葉病	250～ 500倍	—	休眠期	—	散布	3回以内 (休眠期は 1回以内)

⑪ 25.0% イミノクタジン酢酸塩液剤 (つづき)

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の総使 用回数	
みかん	貯蔵病害 (青かび病) 貯蔵病害 (緑かび病)	2000～ 3000倍	200～700 L/10 a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内	
	貯蔵病害 (黒腐病) 貯蔵病害 (白かび病)	2000倍						
かんきつ (みかん、 ゆずを 除く)	貯蔵病害 (すす斑病)	2000～ 3000倍			2回以内		2回以内	2回以内
	貯蔵病害 (青かび病) 貯蔵病害 (緑かび病)							
ゆず	貯蔵病害 (黒腐病) 貯蔵病害 (白かび病) 貯蔵病害 (すす斑病) 幹腐病	2000倍			4回以内 (ただし、 開花期以 降散布は3 回以内)		展葉期	4回以内 (開花期以降 は3回以内)
	腐らん病	1500倍						
マルメロ かりん								
アスパラガス	茎枯病	1000倍	100～300 L/10 a	収穫終了後 (冬期まで)	5回以内	5回以内		

⑫ 3.0%イミノクタジン酢酸塩塗布剤

作物名	適用	希釈 倍数	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数
りんご	腐らん病 銀葉病	原液	せん定時及 び病患部削 り取り直後	2回以内	塗布	8回以内 (液剤及び水 和剤は合計6 回以内(開 花期以降は3回 以内)、塗布 剤は2回以 内)
なし	胴枯病	3倍				5回以内 (塗布剤は2 回以内、液剤 は1回以内)
くり	胴枯病 傷口のゆ合 促進	原液				2回以内

作物名	使用 目的	適用	希釈 倍数	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジンを 含む農薬の総使 用回数
りんご	忌避	野ウギ <sup>※</sup> 野ソ	原液	根雪前	2回以内	塗布	8回以内 (液剤及び 水和剤は 合計6回以 内(開花期 以降は3回 以内)、塗 布剤は2回 以内)

⑬ 15.7%イミノクタジン酢酸塩・26.2%チオファネートメチルフロアブル

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の総使 用回数		
麦類 (小麦を 除く)	赤かび病	1000倍	60～180 L/10 a	収穫14日 前まで	2回以内 (出穂期以 降は1回以 内)	散布	3回以内 (種子への 処理は1回 以内、散布 は2回以 内)		
		800～ 1000倍							
		250倍	25 L/10 a						
	小麦	うどんこ病	800～ 1000倍	60～180 L/10 a	根雪前		3回以内 (出穂期以 降は1回 以内)	無人ヘリコプ ターによる 散布	4回以内 (種子への 処理は1回 以内、散布 及び無人ヘ リ散布は合 計3回以 内、出穂期 以降は1回 以内)
		紅色雪腐病	750～ 1000倍						
		雪腐大粒菌 核病	750倍						
		赤かび病	8倍	0.8 L/10 a					
みかん	貯蔵病害 (青かび病)	1500倍	200～700 L/10 a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内		
かんきつ (みかんを 除く)	貯蔵病害 (緑かび病) 貯蔵病害 (軸腐病) 貯蔵病害 (こうじか び病) 貯蔵病害 (黒腐病) 貯蔵病害 (炭疽病) 貯蔵病害 (白かび病) 貯蔵病害 (すす斑病)			収穫前日 まで	2回以内		2回以内		

⑭ 15.0%イミノクタジン酢酸塩・25.0%トルクロホスメチル水和剤

作物名	適用	希釈 倍数	使用 時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数
麦類 (小麦を除く)	紅色雪腐病 雪腐大粒菌 核病 雪腐小粒菌 核病	600～ 750倍	根雪前	2回以内	散布	3回以内 (種子への処 理は1回以 内、散布は2 回以内)
小麦		500～ 750倍				4回以内 (種子への処 理は1回以 内、散布及び 無人ヘリ散布 は合計3回以 内、出穂期以 降は1回 以内)

⑮ 15.0%イミノクタジン酢酸塩・25.0%トルクロホスメチルフロアブル

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農 薬の総使 用回数
小麦	紅色雪腐病 雪腐小粒菌 核病	500～ 750倍	—	根雪前	2回以内	散布	4回以内 (種子への 処理は1回 以内、散布 及び無人ヘ リ散布は合 計3回以 内、出穂期 以降は 1回以内)
		6倍	0.8 L/10 a			無人ヘリコプ ターによる 散布	
		12倍	1.6 L/10 a				

⑩ 15.0%イミノクタジン酢酸塩・4.0%イプロナゾールフロアブル

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農 薬の総使 用回数
小麦	紅色雪腐病 裸黒穂病 なまぐさ黒 穂病	原液	5 mL/乾燥 種子1 kg	は種前	1回	種子吹き付 け処理又は 塗沫処理	4回以内 (種子への 処理は1回 以内、散布 及び無人 航空機散 布は合計3 回以内、出 穂期以降 は1回以 内)

⑪ 10.0%イミノクタジン酢酸塩・20.0%フルトラニルフロアブル

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農 薬の総使 用回数
小麦	雪腐大粒 菌核病 紅色雪 腐病 雪腐小粒 菌核病	500倍	60～150 L/10 a	根雪前	2回以内	散布	4回以内 (種子への 処理は1回 以内、散布 及び無人 ヘリコプ ターによる 散布は合 計3回以 内、出穂期 以降は1回 以内)
	紅色雪 腐病	125倍	25 L/10 a				
	雪腐小粒 菌核病	4倍	800 mL/10 a			無人ヘリコプ ターによる 散布	



⑱ 10.0%イミノクタジン酢酸塩・30.0%メプロニル水和剤

作物名	適用	希釈 倍数	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数
麦類 (小麦を 除く)	雪腐大粒菌 核病 雪腐小粒菌 核病 紅色雪腐病	400倍	根雪前	2回以内	散布	3回以内 (種子への処 理は1回以 内、散布は2 回以内)
小麦						4回以内 (種子への処 理は1回以 内、散布及び 無人ヘリ散布 は合計3回以 内、出穂期以 降は1回以 内)

⑲ 7.0%イミノクタジン酢酸塩・50.0%有機銅水和剤

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジンを 含む農薬の総使 用回数		
りんご	斑点落葉病	750～ 1000倍	200～700 L/10 a	収穫14日 前まで	3回以内	散布	8回以内 (液剤及び 水和剤は 合計6回以 内(開花期 以降は3回 以内)、塗 布剤は2回 以内)		
	輪紋病 すす点病 すす斑病 褐斑病 炭疽病	1000倍						収穫30日 前まで	2回以内
かんきつ (みかんを 除く)	灰色かび病 黒点病			3回以内	3回以内				
みかん	灰色かび病 そうか病 黒点病						4回以内		
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病								

⑱ 7.0%イミノクタジン酢酸塩・50.0%有機銅水和剤（つづき）

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の総使 用回数
麦類 (小麦を 除く)							3回以内 (種子への 処理は1回 以内、散布 は2回以 内)
小麦	雪腐小粒菌 核病 紅色雪腐病	300倍	100～200 L/10 a	根雪前	2回以内	散布	4回以内 (種子への 処理は1回 以内、散布 及び無人ハ リ散布は合 計3回以 内、出穂期 以降は1回 以内)

⑳ 5.0%イミノクタジン酢酸塩・70.0%チウラム水和剤

作物名	適用	希釈 倍数	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の 総使用回数
もも	灰星病 ホトシ腐 敗病	1000～ 2000倍	収穫14日 前 まで	3回以内	散布	3回以内 (休眠期は1 回以内)
	黒星病	1000倍				

㉑ 5.0%イミノクタジン酢酸塩・15.0%ポリオキシシン水和剤

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の総使 用回数
りんご	斑点落葉病 すす点病 すす斑病	1500～ 2000倍	200～700 L/10 a	収穫21日 前まで	3回以内	散布	8回以内 (液剤及び 水和剤は 合計6回以 内(開花期 以降は3回 以内)、塗 布剤は2回 以内)
	うどんこ病 黒星病 褐斑病	1500倍					

② 5.0%イミノクタジン酢酸塩・15.0%ポリオキシシン水和剤（つづき）

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の総使用 回数
みかん	そうか病	1000倍	200～700 L/10 a	開花期～ 幼果期	3回以内	散布	3回以内
	かんきつ (みかんを 除く)	灰色かび病					
なし	そうか病	1000倍		収穫14日 前まで	3回以内		5回以内 (塗布剤は 2回以内、 液剤は1回 以内)
	黒斑病	1500～ 2000倍					
ぶどう	灰色かび病	750～ 1500倍		収穫60日 前まで	2回以内		3回以内 (休眠期は 1回以内、 生育期は2 回以内)
	黒とう病 晩腐病 褐斑病	1000倍					
	うどんこ病	1000～ 2000倍					
うめ	灰色かび病 すす斑病 黒星病	1000倍		収穫30日 前まで	3回以内		3回以内
かき	うどんこ病 灰色かび病 炭疽病	1000～ 2000倍					
きゅうり	うどんこ病	2000倍		100～300 L/10 a	収穫前日 まで		2回以内
	灰色かび病 褐斑病 ハダニ類 アザミヤカ類	1000倍					
すいか	うどんこ病	1000～ 2000倍	4回以内			4回以内	
	つる枯病 炭疽病 ハダニ類	1000倍					
メロン	うどんこ病	1500～ 2000倍	5回以内			5回以内	
	つる枯病 ハダニ類 アザミヤカ類	1500倍					

⑳ 5.0%イミノクタジン酢酸塩・15.0%ポリオキシシン水和剤（つづき）

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の総使 用回数	
かぼちゃ	うどんこ病	1000～ 2000倍	100～300 L/10 a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	4回以内	
なす	灰色かび病 ハダニ類 アザミウマ類	1000倍		収穫前日 まで			3回以内	3回以内
ねぎ	黒斑病 小菌核腐敗 病 黄斑病 葉枯病	1500倍		収穫14日 前まで				5回以内
たまねぎ	灰色腐敗病	750～ 1000倍		収穫3日前 まで	3回以内		3回以内	
にんにく	葉枯病 黄斑病	1000～ 1500倍			5回以内		5回以内 (種子粉衣 は1回以 内、無人へ 散布は2回 以内)	
にんじん	黒葉枯病 斑点病	1500～ 2000倍		収穫14日 前まで	5回以内			

㉑ 2.5%イミノクタジン酢酸塩・73.5%塩基性塩化銅水和剤

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の総使 用回数
茶	炭疽病 赤焼病 もち病 網もち病	500～ 700倍	200～400 L/10 a	摘採7日 前まで	2回以内	散布	2回以内
	新梢枯死症 (輪斑病菌 による) 褐色円星病 灰色かび病 黒葉腐病	500倍					

② 2.5%イミノクタジン酢酸塩・73.5%塩基性塩化銅水和剤（つづき）

作物名	適用	希釈 倍数	使用 液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の総使 用回数
きゅうり	灰色かび病 炭疽病 斑点細菌病 べと病 うどんこ病 黒星病 褐斑病	500倍	100～300 L/10 a	収穫前日ま で	7回以内	散布	7回以内
	菌核病	1000倍					
かぼちゃ	うどんこ病 白斑病 疫病	500倍		収穫7日 前まで	4回以内		4回以内
キャベツ	黒腐病 べと病		収穫14日 前 まで	3回以内	3回以内		

③ 1.5%イミノクタジン酢酸塩・2.0%トルクロホスメチル粉剤

作物名	適用	使用量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用 方法	イミノクタジン を含む農薬の 総使用回数
小麦	紅色雪腐病 雪腐大粒菌 核病 雪腐小粒菌 核病	3 kg/10 a	根雪前	2回以内	散布	4回以内 (種子への処 理は1回以 内、散布及び 無人ヘリ散布 は合計3回以 内、出穂期以 降は1回以 内)

②④ 1.5%イミノクタジン酢酸塩・2.0%フサライド粉剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) 穂枯れ(すじ葉枯病菌) 稲こうじ病 変色米(カーブリア菌) 変色米(アルタリア菌) 変色米(エビコッカム菌)	3~4 kg/10 a	穂ばらみ期 ~穂揃期 ただし、 収穫14日 前まで	3回以内	散布	3回以内

②⑤ 1.0%イミノクタジン酢酸塩・0.50%エトフェンプロックス・0.50%トリシクラゾール粉剤

作物名	適用	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 稲こうじ病 ツマグロヨコバイ ウカ類 コブノメガ カムシ類 イネツトムシ	3~4 kg/10 a	収穫14日 前 まで	3回以内	散布	3回以内
	穂枯れ(ごま葉枯病菌) 変色米(カーブリア菌) 変色米(アルタリア菌) 内穎褐変病	4 kg/10 a				

### 3. 作物残留試験

#### (1) 分析の概要

##### ① 分析対象物質

・イミノクタジン

##### ② 分析法の概要

試料にグアニジン塩酸塩を加え、2 mol/L水酸化ナトリウム・メタノール溶液で抽出する。クロロホルムに転溶し、0.05又は0.025 mol/L硫酸で抽出する。ヘキサフルオロアセチルアセトンでピリミジン化した後、無水トリフルオロ酢酸でトリフルオ

ロアセチル化する。シリカゲルカラムを用いて精製し、アルカリ熱イオン化検出器付きガスクロマトグラフ (GC-FTD)、高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ (GC-NPD) 又は電子捕獲型検出器付きガスクロマトグラフ (GC-ECD) で定量する。

または、試料にグアニジン塩酸塩を加え、2 mol/L水酸化ナトリウム・メタノール溶液で抽出する。クロロホルムに転溶し、0.05 mol/L硫酸又は硫酸酸性下水で抽出する。カルボキシエチルシリル化シリカゲル (CBA) カラム、カルボキシジビニルベンゼン-*N*-ビニルピロリドン共重合体 (WCX) カラム又はCBAカラム及びプロピルスルホニルシリル化シリカゲル (PRS) カラムを用いて精製し、ポストカラム反応蛍光検出器付き高速液体クロマトグラフ (HPLC-FL (ポストカラム)) 又は液体クロマトグラフ・質量分析計 (LC-MS) で定量する。

または、試料にグアニジン塩酸塩又はグアニジン塩酸塩及びトリエチルアミン溶液を加え、2 mol/L又は2%水酸化ナトリウム・メタノール溶液又はブタノール・*n*-ヘキサン (1:1) 混液で抽出する。クロロホルムに転溶又はトリエチルアミン溶液で洗浄後0.05 mol/L硫酸で抽出し、シリカゲルカラム又はCBAカラムを用いて精製した後、HPLC-FL (ポストカラム) 又はLC-MSで定量する。

茶浸出液は、試料に塩酸グアニジン及び2%水酸化ナトリウム・メタノール溶液を加えてクロロホルムで抽出する。シリカゲルカラムを用いて精製し、HPLC-FL (ポストカラム) で定量、又は0.05 mol/L硫酸で抽出し、ピリミジン化、トリフルオロアセチル化した後シリカゲルカラムを用いて精製し、GC-NPDで定量する。

定量限界：0.001～0.54 mg/kg

## (2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-1 及び 1-2 を参照。

## 4. ADI 及び ARfD の評価

食品安全基本法 (平成 15 年法律第 48 号) 第 24 条第 1 項第 1 号及び第 2 項の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたイミノクタジンに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

なお、イミノクタジンは、イミノクタジンアルベシル酸塩又はイミノクタジン酢酸塩として使用されており、各種試験はそれぞれの塩を用いて実施されていることから、個別に評価した上で総合評価が実施されている。

### (1) ADI

無毒性量：0.239 mg/kg 体重/day (イミノクタジン換算、換算係数：0.266)

(動物種) 雄イヌ

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 慢性毒性試験 (イミノクタジンアルベシル酸塩)

(期間) 1年間

安全係数：100

ADI：0.0023 mg/kg 体重/day

各塩の無毒性量のうち最小値は、イミノクタジン酢酸塩での0.132 mg/kg 体重/日であったが、イヌを用いた1年間慢性毒性試験での最小毒性量は0.272 mg/kg 体重/日であった。一方、イミノクタジンアルベシル酸塩の試験では無毒性量0.239 mg/kg 体重/日が得られており、これらの試験の最小毒性量では同様の所見が認められていること及びイミノクタジン酢酸塩の最小毒性量で認められた所見（精細管萎縮）が軽度であったことから、イミノクタジンアルベシル酸塩でのイヌにおける無毒性量0.239 mg/kg 体重/日を根拠として、安全係数100で除した値をADIと設定することで安全性は確保できると判断された。

## (2) ARfD

無毒性量：5.31 mg/kg 体重/day（イミノクタジン換算、換算係数：0.664）

（動物種） ウサギ

（投与方法） 強制経口

（試験の種類） 発生毒性試験（イミノクタジン酢酸塩）

（投与期間） 妊娠 6～18 日

安全係数：100

ARfD：0.053 mg/kg 体重

イミノクタジン酢酸塩の単回経口投与により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量のうち最小値は、ウサギを用いた発生毒性試験の5.31 mg/kg 体重/日（イミノクタジン酢酸塩：8 mg/kg 体重/日）であった。両試験の最小毒性量で同様の所見が認められていることから、無毒性量の差は用量設定の違いによるものであると考えられた。食品安全委員会は、ウサギへの単回経口投与等により生ずる可能性のある毒性影響に対する無毒性量を5.31 mg/kg 体重/日とすることが妥当であると判断し、これを根拠として、安全係数100で除した0.053 mg/kg 体重をイミノクタジンのARfDと設定した。

## (参考)

### イミノクタジンアルベシル酸塩

#### i) ADI

無毒性量：0.9 mg/kg 体重/day

0.239 mg/kg 体重/day（イミノクタジン換算、換算係数：0.266）

（動物種） 雄イヌ

（投与方法） 混餌

（試験の種類） 慢性毒性試験

（期間） 1年間



安全係数：100

ADI：0.009 mg/kg 体重/day

0.0023 mg/kg 体重/day (イミノクタジン換算)

ii) ARfD

無毒性量：10 mg/kg 体重/day

2.66 mg/kg 体重/day (イミノクタジン換算、換算係数：0.266)

(動物種) ウサギ

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 発生毒性試験

(投与期間) 妊娠 6～18 日

安全係数：100

ARfD：0.1 mg/kg 体重

0.026 mg/kg 体重 (イミノクタジン換算)

イミノクタジン酢酸塩

i) ADI

無毒性量：0.20 mg/kg 体重/day

0.132 mg/kg 体重/day (イミノクタジン換算、換算係数：0.664)

(動物種) 雄イヌ

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 亜急性毒性試験及び慢性毒性試験

(期間) 90 日及び 1 年間

安全係数：100

ADI：0.002 mg/kg 体重/day

0.0013 mg/kg 体重/day (イミノクタジン換算)

発がん性試験において、ラットの雌雄で副腎褐色細胞腫、雄で単核細胞性白血病の発生頻度増加が、マウスの雌雄で腎上皮性腫瘍の発生が認められたが、腫瘍の発生メカニズムは遺伝毒性によるものとは考え難く、評価に当たり閾値を設定することは可能であると考えられた。

(参考)

CHO 細胞<sup>注1)</sup> を用いた *in vitro* 染色体異常試験において、代謝活性化系存在下で弱い陽性反応が認められたが、高い濃度まで実施された CHL 細胞<sup>注2)</sup> を用いた染色体異常試験及び *in vivo* 小核試験では陰性の結果が得られている。その他の試験では全て陰性であったことから、イミノクタジン酢酸塩には生体において問題となる遺伝毒性はないものと考えられた。

注1) チャイニーズハムスター卵巣由来細胞

注2) チャイニーズハムスター肺由来細胞

ii) ARfD

無毒性量：8 mg/kg 体重/day

5.31 mg/kg 体重/day (イミノクタジン換算、換算係数：0.664)

(動物種) ウサギ

(投与方法) 強制経口

(試験の種類) 発生毒性試験

(投与期間) 妊娠 6～18 日

安全係数：100

ARfD：0.08 mg/kg 体重

0.053 mg/kg 体重 (イミノクタジン換算)

5. 諸外国における状況

JMPR における毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、いずれの国及び地域においても基準値が設定されていない。

6. 基準値案

(1) 残留の規制対象

イミノクタジンアルベシル酸塩、イミノクタジン酢酸塩及びイミノクタジンとする。

(2) 基準値案

別紙 2 のとおりである。

(3) 暴露評価対象

イミノクタジンアルベシル酸塩、イミノクタジン酢酸塩及びイミノクタジンとする。

なお、食品安全委員会は、食品健康影響評価において、農産物中の暴露評価対象物質をイミノクタジンアルベシル酸塩、イミノクタジン酢酸塩及びイミノクタジンとしている。

#### (4) 暴露評価

##### ① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	EDI/ADI (%) <sup>注)</sup>
国民全体 (1 歳以上)	38.9
幼小児 (1～6 歳)	66.3
妊婦	30.0
高齢者 (65 歳以上)	48.8

注) 各食品の平均摂取量は、平成 17～19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

EDI 試算法：作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

##### ② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量 (ESTI) を算出したところ、国民全体 (1歳以上) 及び幼小児 (1～6歳) のそれぞれにおける摂取量は急性参照用量 (ARfD) を超えていない<sup>注)</sup>。詳細な暴露評価は別紙4-1及び4-2参照。

注) 基準値案、作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は平均値 (STMR) を用い、平成 17～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを算出した。

(5) 本剤については、平成17年11月29日付け厚生労働省告示第499号により、食品一般の成分規格7に食品に残留する量の限度 (暫定基準) が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

イミノクタジンアルベシル酸塩の作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
小麦 (玄麦)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 100, 150 L/10 a(出穂前)+ 2000倍 散布 150 L/10 a(出穂後)	5 (3+2)	30, 40 30, 38	圃場A: 0.008(5回, 30日) (#) 注2) 圃場B: 0.005(5回, 30日) (#)
	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 150 L/10 a	6	21, 30	圃場A: 0.011(6回, 21日) (#) 圃場B: 0.005(6回, 21日) (#)
だいず (乾燥子実)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 200 L/10 a	4	7, 14	圃場A: 0.006 圃場B: 0.006
	4	30.0%フロアブル	6倍 無人ヘリ散布 0.8~0.9, 0.8, 0.8, 0.8 L/10 a	4	7, 14, 28	圃場A: <0.003 圃場B: 0.003
					6, 13, 28	圃場C: <0.003(4回, 6日)
					7, 14, 28	圃場D: 0.003
	6	30.0%フロアブル	1000倍 散布 200 L/10 a	4	7, 14, 27	圃場A: 0.015
					7, 14, 28	圃場B: <0.005
7, 14, 27					圃場C: <0.003 圃場D: <0.003 圃場E: <0.003 圃場F: <0.003	
いんげんまめ (乾燥子実)	2	40.0%水和剤	500倍 散布 200, 350 L/10 a	3	7, 14, 28	圃場A: <0.004(3回, 7日) (#) 圃場B: 0.008(3回, 7日) (#)
らっかせい (乾燥子実)	2	30.0%フロアブル	750倍 散布 200 L/10 a	4	1, 7, 14	圃場A: <0.01(4回, 7日) (#) 圃場B: <0.01(4回, 7日) (#)
ばれいしょ (塊茎)	2	40.0%水和剤	500倍 散布 200 L/10 a	5	7, 14, 28	圃場A: <0.003 圃場B: <0.003
やまのいも (塊根)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 200, 250 L/10 a	5	7, 14	圃場A: <0.003 圃場B: <0.003
	2	30.0%フロアブル	1000倍 散布 250 L/10 a	5	7, 14	圃場A: <0.005 圃場B: <0.005
	2	30.0%フロアブル	1000倍 散布 250 L/10 a+ 12倍 無人ヘリ散布 3 L/10 a	5 (2+3)	8, 15	圃場A: <0.005(5回, 8日)
					7, 14	圃場B: <0.005
	2	30.0%フロアブル	200倍 10分間種いも浸漬	1	131 159	圃場A: <0.005 圃場B: <0.005
2	40.0%水和剤	種いも重量の1%粉衣	1	169 174	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01	
てんさい (根部)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 100 L/10 a	4	7, 14	圃場A: 0.048 圃場B: <0.003
キャベツ (葉球)	2	30.0%フロアブル	750倍 散布 250 L/10 a	3	14, 21, 28	圃場A: 0.082(3回, 21日) 圃場B: 0.044
レタス (葉部)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 150 L/10 a	3	7, 14, 28	圃場A: 0.096 圃場B: 0.165
たまねぎ (鱗茎)	2	40.0%水和剤	500倍 散布 200 L/10 a	5	1, 7, 14	圃場A: <0.003(#) 圃場B: <0.003(#)
	2	30.0%フロアブル	1000倍 散布 500 L/10 a	5	1, 7, 14	圃場A: 0.012(5回, 1日) (#) 圃場B: 0.008(5回, 1日) (#)
ねぎ (茎葉)	2	40.0%水和剤	2000倍 散布 200 L/10 a	3	14, 21, 28 14, 21, 30	圃場A: <0.01(3回, 28日) 圃場B: 0.01
	2	40.0%水和剤	2000倍 散布 200 L/10 a	3	14, 21, 30	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01
にんにく (鱗茎)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 250 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A: <0.003 圃場B: <0.003
アスパラガス (若茎)	2	40.0%水和剤	500倍 散布 400 L/10 a	5	295	圃場A: <0.003(#)
					175	圃場B: <0.003(#)
	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 150~200, 400 L/10 a	5 6	3, 7	圃場A: <0.02 圃場B: <0.02(6回, 7日)
					3, 7, 14	圃場A: 0.36(5回, 7日) (#) 圃場B: <0.02(5回, 7日) (#)
2	30.0%フロアブル	4倍 無人ヘリ散布 1.6 L/10 a	5	1, 7, 14	圃場A: 0.08 圃場B: <0.01	
2	30.0%フロアブル	750倍 散布 400 L/10 a	5	7, 14	圃場A: <0.011 圃場B: <0.011	
らっきょう (鱗茎)	2	30.0%フロアブル	1000倍 散布 150 L/10 a	5	7, 14, 21	圃場A: <0.011 圃場B: <0.011
にんじん (根部)	2	40.0%水和剤	500倍 散布 200 L/10 a	5	7, 14	圃場A: 0.011 圃場B: <0.003
	2	30.0%フロアブル	500倍 散布 200, 66.7~200 L/10 a	5	7, 14	圃場A: 0.011(5回, 14日) (#) 圃場B: <0.003(5回, 14日) (#)
					7, 14 7, 13	圃場A: <0.01(5回, 14日) (#) 圃場B: <0.01(5回, 13日) (#)

イミノクタジンアルベシル酸塩の作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
トマト (果実)	2	40.0%水和剤	6000倍 散布 150 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.005 圃場B : 0.016 (3回, 3日)
	2	40.0%水和剤	3000倍 散布 250 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.037 圃場B : 0.064
	2	30.0%フロアブル	2000倍 散布 250 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.048 圃場B : 0.04 (3回, 3日)
ミニトマト (果実)	2	30.0%フロアブル	4000倍 散布 300, 250 L/10 a	2	1, 7, 21	圃場A : 0.04 (2回, 7日) 圃場B : 0.03
なす (果実)	2	40.0%水和剤	6000倍 散布 200, 350 L/10 a	3	1, 3	圃場A : 0.037 (#) 圃場B : 0.021 (#)
	4	40.0%水和剤	3000倍 散布 200, 350, 200~250, 300 L/10 a	3	1, 3	圃場A : 0.117 圃場B : 0.064 圃場C : 0.059 圃場D : 0.088
	4	30.0%フロアブル	2000倍 散布 200 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.03 圃場B : 0.12 圃場C : 0.06 圃場D : 0.02
	6	30.0%フロアブル	2000倍 散布 200~250, 222~225, 200, 200~250, 196~203, 202~238 L/10 a	5	1, 3, 7 1	圃場A : 0.03 (5回, 1日) (#) 圃場B : 0.02 (5回, 1日) (#) 圃場C : <0.01 (5回, 1日) (#) 圃場D : 0.03 (5回, 1日) (#) 圃場E : 0.02 (5回, 1日) (#) 圃場F : 0.08 (5回, 1日) (#)
きゅうり (果実)	2	40.0%水和剤	4000倍 散布 250 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A : <0.02 (5回, 1日) 圃場B : 0.02 (5回, 1日)
	4	40.0%水和剤	2000倍 散布 250 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A : 0.053 (5回, 1日) 圃場B : 0.048 (5回, 1日) 圃場C : 0.053 (5回, 1日) 圃場D : 0.067 (5回, 1日)
	2	30.0%フロアブル	1000倍 散布 80~250, 250 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A : 0.080 (5回, 1日) (#) 圃場B : 0.069 (5回, 1日) (#)
	2	40.0%水和剤	100 g/5L/10 a 常温煙霧	5	1, 3, 7	圃場A : 0.03 (5回, 1日) (#) 圃場B : 0.02 (5回, 1日) (#)
	6	40.0%水和剤	2000倍 散布 156~278, 208, 167, 267, 159~267, 160~280 L/10 a	7	1, 3, 7 1	圃場A : 0.05 圃場B : 0.08 圃場C : 0.03 圃場D : 0.01 圃場E : 0.06 圃場F : 0.06
	6	30.0%フロアブル	2000倍 散布 161~278, 159~282, 167, 222, 159~267, 160~280 L/10 a	7	1, 3, 7 1	圃場A : 0.02 圃場B : 0.05 圃場C : 0.02 圃場D : 0.02 圃場E : 0.05 圃場F : 0.05
かぼちゃ (果実)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 184~250, 300 L/10 a	5	7, 14, 21	圃場A : 0.019 (5回, 7日) (#) 圃場B : 0.053 (5回, 7日) (#)
	3	30.0%フロアブル	1000倍 散布 245~262, 221~228, 208~236 L/10 a	4	7, 14, 21, 28	圃場A : 0.05 (4回, 28日) 圃場B : 0.03 圃場C : 0.11 (4回, 21日)
しろり (果実)	2	30.0%フロアブル	1500倍 散布 250, 150~210 L/10 a	5	1, 3, 14	圃場A : <0.02 圃場B : 0.06
すいか (果実)	3	40.0%水和剤	1000倍 散布 233~282 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A : 0.04 圃場B : 0.08 (4回, 3日) 圃場C : 0.06
すいか (果肉)	3	40.0%水和剤	1000倍 散布 233~282 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A : <0.01 圃場B : <0.01 圃場C : 0.01
	2	40.0%水和剤	500倍 散布 350 L/10 a	4	1, 3	圃場A : <0.02 (4回, 1日) (#) 圃場B : 0.040 (4回, 1日) (#)
	2	30.0%フロアブル	1000倍 散布 350, 200 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A : <0.02 圃場B : <0.02

イミノクタジンアルベシル酸塩の作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			残留濃度 (mg/kg) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
メロン (果実)	3	40.0%水和剤	1000倍 散布 200~300 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A : 0.37 圃場B : 0.76 圃場C : 0.40
メロン (果実)	5	40.0%水和剤	1000倍 散布 200~300 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A : 0.01 圃場B : 0.01 圃場C : 0.02
		40.0%水和剤	1000倍 散布 250 L/10 a	5	1, 7, 14	圃場D : <0.006 圃場E : <0.006
	2	30.0%フロアブル	1000倍 散布 250 L/10 a	5	1, 7, 21	圃場A : <0.02 圃場B : <0.02
とうがん (果実)	2	30.0%フロアブル	1500倍 散布 250 L/10 a	5	1, 3, 14	圃場A : <0.02 圃場B : <0.02
にがうり (果実)	2	30.0%フロアブル	4000倍 散布 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.14 圃場B : 0.15
やまのいも (むかご)	2	30.0%フロアブル	200倍 10分間種いも浸漬	1	175	圃場A : <0.02 圃場B : <0.02
温州みかん (果実)	4	40.0%水和剤	1000倍 散布 400, 500, 400, 400 L/10 a	3	7, 14	圃場A : 0.27 <sup>注3)</sup> (3回, 14日)
						圃場B : 0.60 <sup>注3)</sup> (3回, 14日)
						圃場C : 0.32 <sup>注3)</sup> (3回, 7日)
						圃場D : 0.52 <sup>注3)</sup> (3回, 14日)
	8	30.0%フロアブル	1000倍 散布 400, 1500, 400, 400, 400, 400, 400, 400 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A : 0.54 <sup>注3)</sup> (3回, 7日)
					圃場B : 0.62 <sup>注3)</sup> (3回, 14日) (#)	
					圃場C : 0.51 <sup>注3)</sup>	
					圃場D : 0.53 <sup>注3)</sup>	
					圃場E : 0.19 <sup>注3)</sup>	
					圃場F : 0.50 <sup>注3)</sup>	
					圃場G : 0.84 <sup>注3)</sup> (3回, 3日)	
					圃場H : 0.55 <sup>注3)</sup>	
	2	30.0%フロアブル	10倍 無人ヘリ散布 5 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : 0.28 <sup>注3)</sup>
					圃場B : 0.12 <sup>注3)</sup> (3回, 14日)	
	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 650, 400 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.90 <sup>注3)</sup> (3回, 3日)
					圃場B : 0.41 <sup>注3)</sup>	
温州みかん (果実)	4	40.0%水和剤	1000倍 散布 400, 500, 400, 400 L/10 a	3	7, 14	圃場A : 0.053(3回, 14日)
						圃場B : 0.043(3回, 14日)
						圃場C : 0.021(3回, 14日)
						圃場D : 0.019(3回, 7日)
	8	30.0%フロアブル	1000倍 散布 400, 1500, 400, 400, 400, 400, 400, 400 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A : 0.028
					圃場B : 0.059(3回, 14日) (#)	
					圃場C : 0.022	
					圃場D : 0.026	
					圃場E : 0.04(3回, 3日)	
					圃場F : 0.07(3回, 3日)	
					圃場G : 0.03	
					圃場H : <0.01	
	2	30.0%フロアブル	10倍 無人ヘリ散布 5 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : <0.02
					圃場B : <0.02	
	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 650, 400 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.04
					圃場B : 0.04(3回, 7日)	
温州みかん (果皮)	4	40.0%水和剤	1000倍 散布 400, 500, 400, 400 L/10 a	3	7, 14	圃場A : 1.43(3回, 7日)
						圃場B : 2.31(3回, 14日)
						圃場C : 2.10(3回, 7日)
						圃場D : 1.60(3回, 14日)
	8	30.0%フロアブル	1000倍 散布 400, 1500, 400, 400, 400, 400, 400, 400 L/10 a	3	1, 7, 14	圃場A : 2.24
					圃場B : 2.30(#)	
					圃場C : 2.58	
					圃場D : 3.35	
					圃場E : 0.91	
					圃場F : 1.94	
					圃場G : 3.44	
					圃場H : 3.12	
	2	30.0%フロアブル	10倍 無人ヘリ散布 5 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A : 1.17
					圃場B : 0.47(3回, 14日)	
	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 650, 400 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 3.54(3回, 3日)
					圃場B : 2.26	

イミノクタジナルベシル酸塩の作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
なつみかん (果実)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 500 L/10 a	3	7, 14	圃場A : 0.38 <sup>注3)</sup> (3回, 7日) (#)
						圃場B : 0.06 <sup>注3)</sup> (3回, 7日) (#)
なつみかん (果肉)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 500 L/10 a	3	7, 14	圃場A : <0.02 (3回, 7日) (#)
						圃場B : <0.02 (3回, 7日) (#)
なつみかん (果皮)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 500 L/10 a	3	7, 14	圃場A : 1.15 (3回, 7日) (#) 圃場B : 0.15 (3回, 7日) (#)
なつみかん (果実)	4	30.0%フロアブル	1000倍 散布 600, 400, 816, 400 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : 0.20 (2回, 3日)
						圃場B : 0.08
						圃場C : 0.41
						圃場D : 0.23
小粒柑橘 (果実)	2	40.0%水和剤	2000倍 散布 400 L/10 a	2	7, 14	圃場A : 0.102 (2回, 7日)
						圃場B : 0.086 (2回, 7日)
	4	30.0%フロアブル	1000倍 散布 400, 640, 900, 500 L/10 a	2	1, 3, 7	圃場A : 0.56
						圃場B : 0.10 圃場C : 0.57 (#) 圃場D : 0.06
りんご (果実)	2	40.0%水和剤+ 3.0%塗布剤 <sup>注5)</sup> + 40.0%水和剤	500倍 散布 350, 500 L/10 a(水和剤)+ 原液 塗布(塗布剤)+ 1000倍 散布 500 L/10 a(開花後)(水和 剤)	7 (3+1+3)	30, 45, 60	圃場A : 0.026 (7回, 30日) (#)
						圃場B : 0.020 (7回, 30日) (#)
	2	40.0%水和剤+ 3.0%塗布剤 <sup>注5)</sup> + 40.0%水和剤	500倍 散布 350, 500 L/10 a(水和剤)+ 原液 塗布(塗布剤)+ 1000倍 散布 500 L/10 a(開花後)(水和 剤)	8 (3+2+3)	14, 21	圃場A : 0.059 (8回, 14日) (#)
						圃場B : 0.024 (8回, 21日) (#)
	2	30.0%フロアブル+ 3.0%塗布剤 <sup>注5)</sup> + 30.0%フロアブル	500倍 散布 300 L/10 a(水和剤)+ 原液 樹幹塗布(塗布剤)+ 1000倍 散布 600 L/10 a(開花後)(水和 剤)	8 (3+2+3)	3, 7, 14	圃場A : 0.18 (8回, 7日) (#)
						圃場B : 0.200 (8回, 3日) (#)
りんご (果実)	1	30.0%フロアブル+ 3.0%塗布剤 <sup>注5)</sup> + 30.0%フロアブル	500倍 散布 300 L/10 a(水和剤)+ 原液 塗布(塗布剤)+ 750倍 散布 600 L/10 a(開花後)(水和 剤)	8 (3+2+3)	1, 3, 7, 21	圃場A : 0.15 (8回, 1日) (#)
						圃場A : 0.20 (8回, 1日) (#) 圃場B : 0.24 (8回, 1日) (#) 圃場C : 0.22 (8回, 1日) (#) 圃場D : 0.12 (8回, 3日) (#) 圃場E : 0.22 (8回, 3日) (#) 圃場F : 0.14 (8回, 3日) (#) 圃場G : 0.17 (8回, 3日) (#) 圃場H : 0.24 (8回, 1日) (#) 圃場I : 0.14 (8回, 1日) (#)
	11	30.0%フロアブル+ 3.0%塗布剤 <sup>注5)</sup> + 30.0%フロアブル	500倍 散布 300 L/10 a(水和剤)+ 原液 塗布(塗布剤)+ 1000倍 散布 500, 500, 500, 500, 500, 600, 600, 500, 500 L/10 a(開花後)(水和剤)	8 (3+2+3)	1, 3, 7, 21	圃場J : 0.35 (6回, 3日)
						圃場K : 0.54 (6回, 3日)
	9	40.0%水和剤+ 3.0%塗布剤 <sup>注5)</sup> + 40.0%水和剤	500倍 散布 300 L/10 a(水和剤)+ 原液 樹幹塗布(塗布剤)+ 1000倍 散布 500 L/10 a(開花後)(水和 剤)	8 (3+2+3)	1, 3, 7, 21	圃場A : 0.22 (8回, 1日) (#) 圃場B : 0.10 (8回, 1日) (#) 圃場C : 0.26 (8回, 1日) (#) 圃場D : 0.04 (8回, 3日) (#) 圃場E : 0.04 (8回, 1日) (#) 圃場F : 0.17 (8回, 1日) (#) 圃場G : 0.26 (8回, 3日) (#) 圃場H : 0.10 (8回, 1日) (#) 圃場I : 0.20 (8回, 1日) (#)
圃場A : 0.10 圃場B : 0.120						
なし (果実)	6	30.0%フロアブル	1500倍 散布 500, 500, 400, 500, 500, 500 L/10 a	5	7, 14, 21	圃場A : 0.140 圃場B : 0.276 圃場C : 0.20 圃場D : 0.20 圃場E : 0.26 圃場F : 0.22
						圃場A : 0.10 圃場B : 0.120
びわ (果実)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 300, 400 L/10 a	3	7, 13 7, 14	圃場A : <0.02 <sup>注4)</sup> 圃場B : 0.03 <sup>注4)</sup>
						圃場A : <0.02 圃場B : <0.02
びわ (果肉)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 300, 400 L/10 a	3	7, 13 7, 14	圃場A : <0.02 圃場B : <0.02
						圃場A : <0.02 圃場B : 0.10
びわ (果皮)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 300, 400 L/10 a	3	7, 13 7, 14	圃場A : <0.02 圃場B : 0.10
						圃場A : <0.02 圃場B : 0.10

イミノクタジンアルベシル酸塩の作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
もも (果実)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 500 L/10 a	3	1, 7	圃場A: 0.49 <sup>注4)</sup> 圃場B: 0.69 <sup>注4)</sup> (3回, 7日)
	2	30.0%フロアブル	1000倍 散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 0.74 <sup>注4)</sup> 圃場B: 0.38 <sup>注4)</sup>
もも (果肉)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 500 L/10 a	3	1, 7	圃場A: 0.02 圃場B: 0.02
	2	30.0%フロアブル	1000倍 散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 0.03 (3回, 7日) 圃場B: 0.014
もも (果皮)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 500 L/10 a	3	1, 7	圃場A: 3.17 圃場B: 4.50 (3回, 7日)
	2	30.0%フロアブル	1000倍 散布 500 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 4.82 圃場B: 2.45
ネクタリン (果実)	4	30.0%フロアブル	2000倍 散布 400, 400 L/10 a, 15 L/樹, 270 L/10 a	2	1, 7, 21	圃場A: 0.10 圃場B: 0.10 圃場C: 0.10 圃場D: 0.12
						圃場A: 0.12 圃場B: 0.13 圃場C: 0.11 圃場D: 0.12
	4	30.0%フロアブル	1500倍 散布 400 L/10 a	2	1, 7, 21	圃場A: 0.273 圃場B: 0.242 圃場C: 0.14 圃場D: 0.18 圃場E: 0.12
						圃場A: 0.04 圃場B: 0.06 (3回, 7日)
うめ (果実)	7	40.0%水和剤	2000倍 散布 250, 250, 400, 400, 400, 303, 350 L/10 a	3	30, 45, 60 7, 14, 28 7, 14, 28	圃場A: 0.045 圃場B: 0.096 圃場C: 0.34 (3回, 28日) 圃場D: 0.07 (3回, 28日)
						圃場E: 0.04 (3回, 28日) 圃場F: 0.11 (3回, 28日) 圃場G: 0.11 (3回, 28日)
						圃場A: 0.04 (3回, 28日) 圃場B: 0.06 (3回, 27日) 圃場C: 0.05 (3回, 28日) 圃場D: 0.22 (3回, 28日)
	4	30.0%フロアブル	2000倍 散布 250, 200, 333, 356 L/10 a	3	7, 14, 28 7, 14, 27 1, 3, 7, 14, 21, 28	圃場A: 0.51 圃場B: 0.755 (3回, 13日) 圃場C: 1.31 圃場D: 1.70 (3回, 10日)
						圃場A: 0.67 圃場B: 0.29
						圃場A: <0.003 圃場B: <0.003
いちご (果実)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 200, 150 L/10 a (定植前)	5	217 126	圃場A: 0.133 (7回, 1日) 圃場B: 0.149 (7回, 1日)
						圃場A: 0.18 (7回, 1日) (#) 圃場B: 0.25 (7回, 1日) (#) 圃場C: 0.22 (7回, 1日) (#) 圃場D: 0.07 (7回, 1日) (#) 圃場E: 0.16 (7回, 1日) (#)
	3	30.0%フロアブル	1000倍 散布 (育苗期) 250, 225~231, 246~252 L/10 a+ 2000倍 散布 (生育期) 200, 188~200, 190~205 L/10 a	10 (5+5)	1, 3, 7, 14	圃場A: 0.04 圃場B: 0.05 圃場C: 0.04
						圃場A: 0.08 圃場B: 0.04
ぶどう (果実)	2	20%水和剤	1000倍 散布 379, 333 L/10 a	2	45, 60, 75	圃場A: 0.007 (#) 圃場B: <0.007 (#)
						圃場A: 0.043 (5回, 14日) (#) 圃場B: 0.069 (4回, 14日) (#)
かき (果実)	2	40.0%水和剤	250倍 散布 250 L/10 a	1	232 215	圃場A: 0.043 (5回, 14日) (#) 圃場B: 0.069 (4回, 14日) (#)
						圃場A: 0.043 (5回, 14日) (#) 圃場B: 0.069 (4回, 14日) (#)



## イミノクタジンアルベシル酸塩の作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
キウイフルーツ (果実)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 300 L/10 a	5	1, 7	圃場A : 2.91 <sup>注3)</sup> 圃場B : 2.50 <sup>注3)</sup>
キウイフルーツ (果肉)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 300 L/10 a	5	1, 7	圃場A : <0.02 圃場B : <0.02
キウイフルーツ (果皮)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 300 L/10 a	5	1, 7	圃場A : 19.7 圃場B : 18.7
マンゴー (果実)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 500 L/10 a	3	15, 44, 75 14, 43, 75	圃場A : 0.24 (3回, 15日) (#) 圃場B : 0.34 (3回, 14日) (#)
あけび (果実)	2	40.0%水和剤	3000倍 散布 500, 360 L/10 a	2	14, 22, 42 14, 21, 42	圃場A : 0.04 圃場B : 0.06
くり (果実)	2	30.0%フロアブル	1000倍 散布 300 L/10 a	2	14, 21, 28 14, 20, 28	圃場A : <0.007 圃場B : <0.007
茶 (荒茶)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : 0.69 圃場B : 1.18
茶 (浸出液)	2	40.0%水和剤	1000倍 散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : 0.03 圃場B : 0.06
茶 (荒茶)	2	30.0%フロアブル	1500倍 散布 200 L/10 a	2	7, 14, 21	圃場A : 4.6 圃場B : 2.0

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について ( ) 内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注3) 果肉及び外果皮の重量比のデータから果実全体の残留濃度を算出した。

注4) 果肉、外果皮及び種子の重量比のデータから果実全体の残留濃度を算出した。

注5) イミノクタジン酢酸塩塗布剤

イミノクタジン酢酸塩の作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			経過日数	残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数		
水稲 (玄米)	2	2.0%粉剤	4 kg/10 a 散布	2, 4	14, 21, 28	圃場A : < 0.04 (4回, 14日) (#) 注2)
					13, 19, 26	圃場B : 0.04 (4回, 13日) (#)
	2	1.5%粉剤	4 kg/10 a 散布	4	14, 21, 27	圃場A : 0.013 (4回, 14日) (#)
					14, 20, 28	圃場B : 0.013 (4回, 14日) (#)
4	1.5%粉剤	4 kg/10 a 散布	3	14, 21, 28	圃場A : 0.007 圃場B : 0.005 圃場C : 0.015 圃場D : 0.008	
小麦 (玄麦)	2	25.0%液剤	1000倍 根雪前散布 100 L/10 a	1	273	圃場A : < 0.003
	2	1.5%粉剤DL	3 kg/10a 根雪前散布	1	262	圃場B : < 0.003
	2	25.0%液剤	原液 種子処理 10, 100 mL/kg種子+ 500倍 散布 100~150, 150 L/10 a	4 (1+3)	245	圃場A : < 0.004 (#)
	2	25.0%液剤	1000倍 散布 150 L/10 a+ 2000倍 散布 150 L/10 a	4 (3+1)	254	圃場B : < 0.004 (#)
	1	25.0%液剤	1000倍 散布 150 L/10 a	4	30, 40	圃場A : < 0.004 (4回, 30日) (#)
	2	25.0%液剤+ 15.0%フロアブル 1.5%粉剤DL	1000倍 散布 150 L/10 a(液剤)+ 2000倍 散布 150 L/10 a(液剤)+ 500倍 散布 150 L/10 a(70777ル)+ 3 kg/10 a 散布(粉剤DL)	6 (1+1+2+2)	41	圃場A : < 0.004 (6回, 30日) (#)
	2	25.0%液剤+ 15.0%フロアブル 1.5%粉剤DL	1000倍 散布 150 L/10 a(液剤)+ 2000倍 散布 150 L/10 a(液剤)+ 500倍 散布 150 L/10 a(70777ル)+ 3 kg/10 a 散布(粉剤DL)	9 (3+2+2+2)	30, 40	圃場B : < 0.004 (6回, 30日) (#)
	6	25.0%液剤+ 15.0%フロアブル 1.5%粉剤DL	1000倍 散布 150 L/10 a(液剤)+ 500倍 散布 150 L/10 a(70777ル)+ 3 kg/10 a 散布(粉剤DL)	9 (5+2+2)	14, 21	圃場A : 0.025 (9回, 14日) (#)
	2	15.7%フロアブル	6倍 無人ヘリ散布 0.8, 0.84~0.98 L/10 a	3 (出穂後1)	14, 21	圃場B : 0.038 (9回, 14日) (#)
	6	15.7%フロアブル	500倍 散布 100, 150 L/10a(出穂前)+ 800倍 散布 100, 150 L/10a(出穂後)	3 (出穂後1)	14, 21	圃場A : 0.044 (9回, 14日) (#)
	7	25.0%液剤	1000倍 散布 130, 150, 100, 150, 150, 100, 150 L/10 a	3 (出穂後1)	15, 20	圃場B : 0.100 (9回, 14日) (#)
	2	15.7%フロアブル	125倍 散布 25 L/10 a(出穂前)	2	14, 21	圃場C : 0.056 (9回, 14日) (#)
	2	15.7%フロアブル	125倍 散布 25 L/10 a(出穂前)+ 250倍 散布 25 L/10 a(出穂後)	3 (出穂後1)	14, 21	圃場D : 0.076 (9回, 15日) (#)
	2	25.0%液剤	250倍 散布 25 L/10a(出穂後)	3 (出穂後1)	7, 14, 28	圃場E : 0.052 (9回, 14日) (#)
	2	15.7%フロアブル	125倍 散布 25 L/10 a(出穂前)+ 250倍 散布 25 L/10 a(出穂後)	3 (出穂後1)	7, 13, 28	圃場F : 0.050 (9回, 14日) (#)
	2	25.0%液剤	250倍 散布 25 L/10a(出穂後)	3 (出穂後1)	7, 14, 28	圃場A : < 0.01 (3回, 14日) (#)
	大麦 (脱穀した種子)	2	25.0%液剤	250倍 30分間種子浸漬+ 1000倍 散布 100, 150 L/10 a	3 (1+2)	7, 14, 28
1		25.0%液剤	250倍 30分間種子浸漬	3 (1+2)	7, 14, 28	圃場C : 0.04 (3回, 14日) (#)
2		25.0%液剤	種子重量の0.5% 塗沫処理+ 1000倍 散布 150 L/10 a	3 (1+2)	7, 14, 28	圃場D : 0.02 (3回, 14日) (#)
2		15.7%フロアブル	1000倍 散布 150 L/10 a	3 (出穂後1)	7, 14, 28	圃場E : 0.02 (3回, 14日) (#)
キャベツ (葉球)	2	2.5%水和剤	500倍 散布 250 L/10 a	3	7, 14, 28	圃場A : 0.04 圃場B : 0.02 圃場C : 0.01
					6, 13, 27	圃場D : 0.04 (3回, 13日)
たまねぎ (鱗茎)	4	5.0%水和剤	750倍 散布 150, 150, 200, 200 L/10 a	5	7, 14, 28	圃場E : 0.04 圃場F : 0.01 圃場G : 0.01
					1, 3, 7	圃場A : 0.06 圃場B : < 0.06

イミノクタジン酢酸塩の作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件			残留濃度 (mg/kg) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
ねぎ (茎葉)	2	5.0%水和剤	500倍 定植時根部浸漬+ 1500倍 散布 130~200, 200 L/10 a	4 (1+3)	14, 21, 30	圃場A: <0.007 (4回, 14日) (#) 圃場B: 0.020 (4回, 14日) (#)
	2	5.0%水和剤	500倍 定植時浸漬+ 1500倍 散布 200 L/10 a	4 (1+3)	13, 20, 29 14, 21, 30	圃場A: 0.013 (4回, 13日) (#) 圃場B: 0.013 (4回, 21日) (#)
にんにく (鱗茎)	2	5.0%水和剤	1000倍 散布 300 L/10 a	3	3, 7, 14	圃場A: 0.02 圃場B: 0.02
アスパラガス (若茎)	2	25.0%液剤	1000倍 散布 400 L/10 a	8 5	261 283	圃場A: <0.007 (#) 圃場B: <0.007 (#)
にんじん (根部)	2	5.0%水和剤	1500倍 散布 160, 200 L/10 a	5	7, 14	圃場A: <0.007 圃場B: <0.007
なす (果実)	2	5.0%水和剤	1000倍 散布 200, 300 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A: 0.053 圃場B: 0.020
きゅうり (果実)	2	10.0%水和剤	1000倍 散布 250 L/10 a	3, 5	1, 3, 7 2, 5, 9	圃場A: 0.08 (3回, 1日) (#) 圃場B: 0.08 (3回, 2日) (#)
	2	10.0%水和剤	1000倍 散布 250 L/10 a	3, 5	1, 3, 7 1, 3, 5, 7	圃場A: 0.09 (5回, 1日) (#) 圃場B: 0.06 (5回, 1日) (#)
	10	2.5%水和剤	500倍 散布 250 L/10 a	3	1	圃場A: 0.040 圃場B: 0.027 圃場C: 0.020 圃場D: 0.046 圃場E: <0.007 圃場F: 0.013 圃場G: 0.013 圃場H: 0.013 圃場I: 0.013 圃場J: 0.040
	2	5.0%水和剤	1000倍 散布 200 L/10 a	3, 5	1, 3	圃場A: 0.046 (3回, 1日) 圃場B: 0.040 (5回, 1日)
	6	2.5%水和剤	500倍 散布 160~282, 185~275, 167, 267, 206, 159~278 L/10 a	7	1, 3, 7 1	圃場A: 0.08 圃場B: 0.04 圃場C: 0.01 圃場D: <0.01 圃場E: 0.02 圃場F: 0.04
	2	2.5%水和剤	500倍 散布 250 L/10 a	5	1, 7	圃場A: <0.007 (5回, 7日) (#) 圃場B: <0.007 (5回, 7日) (#)
	2	5.0%水和剤	1000倍 散布 155~200, 200 L/10 a	4	7, 14, 21	圃場A: <0.007 圃場B: <0.007
すいか (果実)	3	5.0%水和剤	1000倍 200~300 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A: 0.02 圃場B: 0.03 (4回, 3日) 圃場C: 0.02
すいか (果肉)	3	5.0%水和剤	1000倍 200~300 L/10 a	4	1, 3, 7	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01 圃場C: <0.01
	2	5.0%水和剤	1000倍 150 L/10 a	5	1, 3	圃場A: <0.007 圃場B: <0.007
メロン (果実)	3	5.0%水和剤	1500倍 散布 250~293 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A: 0.08 圃場B: 0.12 (5回, 3日) 圃場C: 0.07 (5回, 7日)
メロン (果肉)	3	5.0%水和剤	1500倍 散布 250~293 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A: <0.01 圃場B: <0.01 圃場C: <0.01
	2	5.0%水和剤	1000倍 散布 150 L/10 a	5	1, 3, 7	圃場A: <0.02 (5回, 1日) (#) 圃場B: <0.02 (5回, 1日) (#)
温州みかん (果実)	2	25.0%液剤	500倍 散布 500, 1000 L/10 a	1	3, 8, 13, 18 3, 8, 15, 18	圃場A: 0.45 <sup>注3)</sup> (1回, 3日) (#) 圃場B: 0.30 <sup>注3)</sup> (1回, 8日) (#)
	2	5.0%水和剤	750倍 散布 400, 500 L/10 a+ 200倍 散布 400, 500 L/10 a	3 (2+1)	7, 14, 21, 28	圃場A: 0.201 <sup>注3)</sup> (3回, 7日) (#) 圃場B: 0.138 <sup>注3)</sup> (3回, 7日) (#)
	2	25.0%液剤	1000倍 散布 500 L/10 a	2	7, 14	圃場A: 0.54 <sup>注3)</sup> (2回, 7日) (#) 圃場B: 0.42 <sup>注3)</sup> (2回, 7日) (#)
	2	25.0%液剤	2000倍 散布 400, 500 L/10 a	5	7, 14	圃場A: 0.59 <sup>注3)</sup> (5回, 7日) (#) 圃場B: 0.32 <sup>注3)</sup> (5回, 7日) (#)

イミノクタジン酢酸塩の作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
温州みかん (果実)	2	25.0%液剤	2000倍 散布 400 L/10 a	3	1, 3, 7	圃場A : 0.47 <sup>注3)</sup> (3回, 3日) 圃場B : 0.31 <sup>注3)</sup>
	8	15.7%フロアブル	1500倍 散布 400, 550, 400, 400, 500, 400, 500, 500 L/10 a	3	1, 7, 21	圃場A : 0.29 <sup>注3)</sup> 圃場B : 0.15 <sup>注3)</sup> 圃場C : 0.31 <sup>注3)</sup> 圃場D : 0.17 <sup>注3)</sup> 圃場E : 0.23 <sup>注3)</sup> 圃場F : 0.18 <sup>注3)</sup> 圃場G : 0.36 <sup>注3)</sup> 圃場H : 0.14 <sup>注3)</sup>
	2	25.0%液剤	500倍 散布 500, 1000 L/10 a	1	3, 8, 13, 18	圃場A : 0.12 (1回, 3日) (#)
	2	5.0%水和剤	750倍 散布 400, 500 L/10 a+ 200倍 散布 400, 500 L/10 a	3 (2+1)	3, 8, 15, 18	圃場B : 0.04 (1回, 3日) (#)
	2	25.0%液剤	1000倍 散布 500 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A : <0.007 (3回, 7日) (#) 圃場B : <0.007 (3回, 7日) (#)
	2	25.0%液剤	2000倍 散布 400, 500 L/10 a	5	7, 14	圃場A : <0.007 (2回, 7日) (#) 圃場B : <0.007 (2回, 7日) (#)
	2	25.0%液剤	2000倍 散布 400 L/10 a	3	7, 14	圃場A : 0.027 (5回, 14日) (#) 圃場B : 0.027 (5回, 14日) (#)
	8	15.7%フロアブル	1500倍 散布 400, 550, 400, 400, 500, 400, 500, 500 L/10 a	3	1, 7, 21	圃場A : 0.04 圃場B : <0.02 圃場C : 0.05 圃場D : <0.04 圃場E : 0.08 圃場F : <0.04 圃場G : 0.11 圃場H : 0.06 圃場I : 0.06 圃場J : 0.12 圃場K : 0.06
温州みかん (果肉)	2	25.0%液剤	500倍 散布 500, 1000 L/10 a	1	3, 8, 13, 18	圃場A : 1.79 (1回, 3日) (#)
	2	5.0%水和剤	750倍 散布 400, 500 L/10 a+ 200倍 散布 400, 500 L/10 a	3 (2+1)	3, 8, 15, 18	圃場B : 1.33 (1回, 8日) (#)
	2	25.0%液剤	1000倍 散布 500 L/10 a	2	7, 14, 21, 28	圃場A : 0.890 (3回, 7日) (#) 圃場B : 0.664 (3回, 7日) (#)
	2	25.0%液剤	2000倍 散布 400, 500 L/10 a	5	7, 14, 21, 28	圃場A : 2.70 (2回, 7日) (#) 圃場B : 1.74 (2回, 7日) (#)
	2	25.0%液剤	2000倍 散布 400, 500 L/10 a	5	7, 14	圃場A : 2.55 (5回, 7日) (#) 圃場B : 1.4 (5回, 7日) (#)
	2	25.0%液剤	2000倍 散布 400 L/10 a	3	7, 14, 21, 28	圃場A : 2.17 (3回, 3日) 圃場B : 1.44
	8	15.7%フロアブル	1500倍 散布 400, 550, 400, 400, 500, 400, 500, 500 L/10 a	3	1, 7, 21	圃場A : 1.37 圃場B : 0.58 圃場C : 1.22 圃場D : 0.71 圃場E : 0.91 (3回, 21日) 圃場F : 0.68 圃場G : 1.52 圃場H : 0.64
	なつみかん (果実)	2	25.0%液剤	1000倍 散布 500 L/10 a	1	7, 14, 21, 28
2		25.0%液剤	1000倍 散布 400, 500 L/10 a	2	7, 14	圃場A : 0.33 <sup>注3)</sup> (2回, 7日) (#) 圃場B : 0.28 <sup>注3)</sup> (2回, 7日) (#)
2		25.0%液剤	2000倍 散布 400, 500 L/10 a	3	7, 14	圃場A : 0.27 <sup>注3)</sup> (3回, 7日) (#) 圃場B : 0.14 <sup>注3)</sup> (3回, 7日) (#)
なつみかん (果実)	2	25.0%液剤	2000倍 散布 495, 400 L/10 a	2	1, 7, 21	圃場A : 0.36 圃場B : 0.39
	2	5.0%水和剤	750倍 1200, 640 L/10 a	2	1, 3, 21	圃場A : 0.07 (2回, 21日) (#) 圃場B : <0.05
	2	15.7%フロアブル	1500倍 散布 400 L/10 a	2	1, 7, 21	圃場A : 0.46 圃場B : 0.30
なつみかん (果肉)	2	25.0%液剤	1000倍 散布 500 L/10 a	1	7, 14, 21, 28	圃場A : <0.007 (1回, 7日) (#) 圃場B : 0.007 (1回, 7日) (#)
	2	25.0%液剤	1000倍 散布 400, 500 L/10 a	2	7, 14	圃場A : <0.007 (2回, 7日) (#) 圃場B : <0.007 (2回, 7日) (#)
	2	25.0%液剤	2000倍 散布 400, 500 L/10 a	3	7, 14	圃場A : <0.02 (3回, 7日) (#) 圃場B : <0.02 (3回, 7日) (#)

## イミノクタジン酢酸塩の作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
なつみかん (果皮)	2	25.0%液剤	1000倍 散布 500 L/10 a	1	7, 14, 21, 28	圃場A : 0.11(1回, 7日) (#) 圃場B : 0.32(1回, 7日) (#)
	2	25.0%液剤	1000倍 散布 400, 500 L/10 a	2	7, 14	圃場A : 1.02(2回, 7日) (#) 圃場B : 0.82(2回, 7日) (#)
	8	25.0%液剤	1000倍 散布 400, 500 L/10 a	2	7, 14	圃場A : 0.31(2回, 7日) (#) 圃場B : 0.72(2回, 14日) (#) 圃場C : 0.84(2回, 7日) (#) 圃場D : 1.04(2回, 7日) (#) 圃場E : 0.78(2回, 14日) (#) 圃場F : 0.80(2回, 7日) (#) 圃場G : 0.97(2回, 7日) (#) 圃場H : 0.54(2回, 7日) (#)
	2	25.0%液剤	2000倍 散布 400, 500 L/10 a	3	7, 14	圃場A : 0.74(3回, 7日) (#) 圃場B : 0.42(3回, 7日) (#)
	4	25.0%液剤	2000倍 散布 400, 840~1120, 500, 600 L/10 a	2	1, 3, 21	圃場A : 0.10 圃場B : 0.46 (#) 圃場C : 0.43 圃場D : 0.21
小粒柑橘 (果実)	2	5.0%水和剤	750倍 散布 400, 640 L/10 a	2	1, 3, 21	圃場A : 0.09 圃場B : <0.05
	2	15.7%フロアブル	1500倍 散布 500, 640 L/10 a	2	1, 14, 28 1, 13, 28	圃場A : 0.18 圃場B : 0.08
りんご (果実)	2	25.0%液剤+ 3.0%塗布剤	500倍 散布 250 L/10 a, 50 L/樹(液剤)+ 原液 塗布(塗布剤)	3 (2+1)	189 182	圃場A : <0.03 圃場B : <0.03
	2	25.0%液剤+ 3.0%塗布剤+ 25.0%液剤	500倍 散布 250 L/10 a, 50 L/樹(液剤)+ 原液 塗布(塗布剤)+ 1000倍 散布 250 L/10 a(液剤)	11 (2+1+8)	14, 30, 50 14, 28, 43	圃場A : 0.13(11回, 14日) (#) 圃場B : 0.09(11回, 43日) (#)
	2	3.0%塗布剤+ 25.0%液剤	原液 樹幹塗布(塗布剤)+ 1000倍 散布 500, 600 L/10 a	5 (1+4)	30, 45, 60	圃場A : 0.120(5回, 30日) (#) 圃場B : 0.080(5回, 30日) (#)
	2	25.0%液剤+ 3.0%塗布剤	1000倍 散布 300, 500 L/10 a(液剤)+ 原液 樹幹塗布(塗布剤)	4 (3+1)	147 171	圃場A : <0.02(4回, 147日) 圃場B : <0.02(4回, 171日)
	2	25.0%液剤	1000倍 散布 300~500, 500 L/10 a	6 (開花後3)	30, 46, 60 30, 45, 60	圃場A : 0.07(6回, 30日) (#) 圃場B : 0.07(6回, 30日) (#)
	2	25.0%液剤	1500倍 散布 600, 700 L/10 a	5	30, 40 30, 45	圃場A : 0.03(5回, 30日) (#) 圃場B : 0.03(5回, 30日) (#)
	10	25.0%液剤	1500倍 散布 600, 600, 700, 600, 700, 600, 600, 600, 600, 600 L/10 a	5	21, 31 21, 30 20, 30 21, 30 20, 30	圃場A : 0.053(5回, 31日) (#) 圃場B : <0.02(5回, 30日) (#) 圃場C : 0.05(5回, 30日) (#) 圃場D : 0.06(5回, 30日) (#) 圃場E : 0.02(5回, 30日) (#) 圃場F : 0.02(5回, 30日) (#) 圃場G : <0.02(5回, 30日) (#) 圃場H : <0.02(5回, 30日) (#) 圃場I : <0.02(5回, 30日) (#) 圃場J : <0.02(5回, 30日) (#)
	2	25.0%液剤+ 3.0%塗布剤+ 25.0%液剤	500倍 散布 350, 600 L/10 a(芽出期)(液剤)+ 原液 塗布(塗布剤)+ 1500倍 散布 500, 600 L/10 a(液剤)	7 (2+2+3)	7, 14	圃場A : 0.100(7回, 7日) (#) 圃場B : 0.080(7回, 7日) (#)
	4	25.0%液剤+ 3.0%塗布剤+ 25.0%液剤	500倍 散布 300 L/10 a(開花前)(液剤)+ 原液 塗布(塗布剤)+ 1500倍 散布 600, 500, 500, 500 L/10 a(液剤)	8 (3+2+3)	1, 3, 7, 21	圃場A : 0.22 (#) 圃場B : 0.12 (#) 圃場C : 0.22 (#) 圃場D : 0.22 (#)
	4	25.0%液剤+ 3.0%塗布剤+ 25.0%液剤	500倍 散布 300 L/10 a(展葉期)(液剤)+ 原液 塗布(塗布剤)+ 1500倍 散布 500 L/10 a(液剤)	8 (3+2+3)	1, 3, 7, 21	圃場A : 0.07 (#) 圃場B : 0.03 (#) 圃場C : 0.22 (#) 圃場D : 0.20 (#)
	2	25.0%液剤	500倍 散布 313, 350 L/10 a(休眠期)+ 1000倍 散布 313, 350 L/10 a(展葉期)+ 1500倍 散布 438, 450 L/10 a (果実肥大期~ 収穫期)	6 (1+2+3)	1, 3, 7, 14, 21, 28	圃場A : 0.40(6回, 3日) 圃場B : 0.61
	4	25.0%液剤+ 3.0%塗布剤+ 7.0%水和剤	500倍 散布 300 L/10 a(展葉期)(液剤)+ 原液 塗布(塗布剤)+ 750倍 散布 600, 500, 500, 500 L/10 a(水和 剤)	8 (3+2+3)	1, 3, 14	圃場A : 0.08 (#) 圃場B : 0.02 (#) 圃場C : 0.04 (#) 圃場D : <0.02 (#)

## イミノクタジン酢酸塩の作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験圃場数	試験条件				残留濃度 (mg/kg) 注1)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
なし (果実)	2	7.0%水和剤	1000倍 散布 500, 350 L/10 a	5	14, 28, 45	圃場A : <0.02 圃場B : 0.093
	2	25.0%液剤	250倍 散布 250 L/10 a	1	158	圃場A : <0.02
	2	3.0%塗布剤	3倍 塗布	2	153	圃場B : <0.02
	2	3.0%塗布剤	3倍 塗布	2	113	圃場A : <0.02
	2	3.0%塗布剤	3倍 塗布	2	62	圃場B : <0.02
	2	25.0%液剤+ 3.0%塗布剤+ 5%水和剤	250倍 散布 250 L/10 a(休眠期)(液剤)+ 3倍 塗布(塗布剤)+ 1500倍 散布 400, 500 L/10 a(水和剤)	6 (1+2+3)	14, 21, 30	圃場A : 0.05(6回, 21日) 圃場B : 0.05
	1	25.0%液剤+ 3.0%塗布剤+ 5%水和剤	500倍 散布 250 L/10 a(休眠期)(液剤)+ 3倍 塗布(塗布剤)+ 1500倍 散布 400 L/10 a(水和剤)	6 (1+2+3)	14, 21, 30	圃場A : 0.05(6回, 14日) (#)
	4	25.0%液剤+ 3.0%塗布剤+ 10.0%水和剤	250倍 散布 250 L/10 a(休眠期)(液剤)+ 3倍 樹幹塗布(塗布剤)+ 1000倍 散布 500 L/10 a(水和剤)	5 (1+1+3)	21, 30, 45	圃場A : 0.120(5回, 21日) (#) 圃場B : 0.080(5回, 21日) (#) 圃場C : 0.173(5回, 21日) (#) 圃場D : 0.173(5回, 21日) (#)
	2	25.0%液剤+ 3.0%塗布剤+ 7.0%水和剤	250倍 散布 250 L/10 a(休眠期)(液剤)+ 3倍 塗布(塗布剤)+ 1000倍 散布 500 L/10 a(水和剤)	6 (1+2+3)	30, 44	圃場A : 0.03(6回, 44日)
	2	25.0%液剤	1500倍 散布 500, 700 L/10 a	2	30, 45, 60	圃場B : 0.02
2	25.0%液剤+ 3.0%塗布剤+ 25.0%液剤	250倍 散布 250, 350 L/10 a(液剤)+ 原液 塗布(塗布剤)+ 1500倍 散布 500, 700 L/10 a(液剤)	6 (1+2+3)	30, 45, 60	圃場A : 0.03(2回, 30日) (#) 圃場B : 0.02(2回, 30日) (#)	
2	25.0%液剤+ 3.0%塗布剤+ 25.0%液剤	250倍 散布 250, 350 L/10 a(液剤)+ 原液 塗布(塗布剤)+ 1500倍 散布 500, 700 L/10 a(液剤)	6 (1+2+3)	30, 45, 60	圃場A : 0.040(6回, 30日) (#) 圃場B : 0.053(6回, 30日) (#)	
もも (果実全体)	2	5.0%水和剤	1000倍 散布 500, 800 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A : 0.10 <sup>注4)</sup> 圃場B : 0.08 <sup>注4)</sup>
	2	25.0%液剤	250倍 樹枝休眠期散布 250 L/10 a	1	149	圃場A : <0.02 <sup>注4)</sup> 圃場B : <0.02 <sup>注4)</sup>
もも (果肉)	2	5.0%水和剤	1000倍 散布 500, 800 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A : <0.02 圃場B : <0.02
	2	25.0%液剤	250倍 樹枝休眠期散布 250 L/10 a	1	149	圃場A : <0.02 圃場B : <0.02
もも (果皮)	2	5.0%水和剤	1000倍 散布 500, 800 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A : 0.57 圃場B : 0.42
	2	25.0%液剤	250倍 樹枝休眠期散布 250 L/10 a	1	149	圃場A : <0.02 圃場B : <0.02
うめ (果実)	2	5.0%水和剤	1000倍 散布 500 L/10 a	3	14, 21, 28, 45	圃場A : 0.053(3回, 28日) 圃場B : 0.05(3回, 45日)
ぶどう (果実)	2	25.0%液剤	250倍 散布 250 L/10 a	1	103	圃場A : <0.03 圃場B : <0.03
	1	25.0%液剤	250倍 散布 250 L/10 a+ 2000倍 散布 300 L/10 a	8 (1+7)	14, 21, 30	圃場A : 0.21(8回, 14日) (#)
	1	25.0%液剤	250倍 散布 250 L/10 a+ 2500倍 散布 300 L/10 a	8 (1+7)	14, 21, 30	圃場A : 0.41(8回, 14日) (#)
	2	25.0%液剤	2000倍 散布 300 L/10 a	4	30, 45, 60	圃場A : <0.02(4回, 60日) (#)
	2	25.0%液剤	2000倍 散布 300 L/10 a+ 1000倍 散布 300 L/10 a	4 (2+2)	30, 44, 58	圃場B : 0.05(4回, 58日) (#)
	2	25.0%液剤	2000倍 散布 300 L/10 a+ 1000倍 散布 300 L/10 a	4 (2+2)	60, 75	圃場A : 0.153(4回, 60日) (#) 圃場B : 0.05(4回, 60日) (#)
	1	25.0%液剤	1000倍 散布 250 L/10 a	2	45, 60, 70	圃場A : 0.19
かき (果実)	2	25.0%液剤	250倍 散布 267, 333 L/10 a(休眠期)+ 1000倍 散布 333 L/10 a	3 (1+2)	45, 60, 75	圃場A : 0.10 圃場B : 0.40
	4	5.0%水和剤	1000倍 散布 400, 500, 700, 700 L/10 a	3	21, 30, 45, 60	圃場A : <0.007
	4	5.0%水和剤	1000倍 散布 400, 500, 700, 700 L/10 a	3	22, 30, 45, 61	圃場B : 0.033
くり (果実)	2	3.0%塗布剤	原液 塗布 100 g/樹	2	14, 21, 28	圃場C : 0.03(3回, 28日) 圃場D : <0.02(3回, 28日)
	2	3.0%塗布剤	原液 塗布 100 g/樹	2	106	圃場A : <0.02
茶 (荒茶)	2	10.0%水和剤	2000倍 散布 200 L/10 a	3	113	圃場B : <0.02
	2	10.0%水和剤	2000倍 散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A : 0.80(3回, 7日) (#) 圃場B : 0.89(3回, 7日) (#)
	2	25.0%水和剤	500倍 散布 200 L/10 a	3	40, 50	圃場A : 0.09(3回, 40日) (#) 圃場B : 0.05(3回, 40日) (#)
茶 (荒茶)	3	2.5%水和剤	500倍 散布 200 L/10 a	3	14, 21	圃場A : 0.08(3回, 14日) (#) 圃場B : 0.14(3回, 14日) (#) 圃場C : 0.12(3回, 14日) (#)

## イミノクタジン酢酸塩の作物残留試験一覧表 (国内)

農作物	試験 圃場数	試験条件			残留濃度 (mg/kg) 注1)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
茶 (浸出液)	2	10.0%水和剤	2000倍 散布 200 L/10 a	3	7, 14, 21	圃場A : 0.04 (3回, 7日) (#)
						圃場B : 0.03 (3回, 7日) (#)
	2	25.0%水和剤	500倍 散布 200 L/10 a	3	40, 50	圃場A : <0.02 (3回, 40日) (#)
						圃場B : <0.02 (3回, 40日) (#)
	3	2.5%水和剤	500倍 散布 200 L/10 a	3	14, 21	圃場A : <0.03 (3回, 14日) (#)
						圃場B : 0.04 (3回, 14日) (#)
					圃場C : <0.03 (3回, 14日) (#)	

注1) 当該農薬の登録又は申請された適用の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験 (いわゆる最大使用条件下の作物残留試験) を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留濃度の最大値を示した。

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留濃度が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留濃度が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について ( ) 内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験成績は、登録又は申請された適用の範囲内で行われていないことを示す。また、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

注3) 果肉及び外果皮の重量比のデータから果実全体の残留濃度を算出した。

注4) 果肉、外果皮及び種子の重量比のデータから果実全体の残留濃度を算出した。

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
米（玄米をいう。）	0.03	0.05	○			0.005～0.015 (n=4) (酢酸塩)
小麦	0.09	0.1	○			0.01～0.04 (n=7) (酢酸塩)
大麦	1	0.02	○・申			0.340, 0.352 (¥) (酢酸塩) (大麦参照)
ライ麦	1	0.02	○・申			
とうもろこし		0.02				
そば		0.02				
その他の穀類	1	0.02	○・申			(大麦参照)
大豆	0.03	0.03	○			<0.003～0.015 (n=6) (アルベシル酸塩)
小豆類	0.02	0.05	○			<0.004, 0.004 (¥) (#) (いんげんまめ) (アルベシル酸塩)※1
えんどう	0.05	0.05	○			(らっかせい参照)
そら豆	0.05	0.05	○			(らっかせい参照)
らっかせい	0.05	0.05	○			<0.01, <0.01 (¥) (#) (アルベシル酸塩)
その他の豆類	0.05	0.05	○			(らっかせい参照)
ばれいしょ	0.02	0.02	○			<0.003, <0.003 (¥) (アルベシル酸塩)
さといも類（やつがしらを含む。）		0.02				
かんしょ		0.02				
やまいも（長いもをいう。）	0.02	0.02	○			<0.005, <0.005 (¥) (アルベシル酸塩)
こんにやくいも		0.02				
その他のいも類		0.02				
てんさい	0.2	0.2	○			<0.003, 0.048 (¥) (アルベシル酸塩)
さとうきび		0.02				
だいこん類（ラディッシュを含む。）の根		0.05				
だいこん類（ラディッシュを含む。）の葉		0.1				
かぶ類の根		0.05				
かぶ類の葉		0.1				
西洋わさび		0.05				
クレソン		0.1				
はくさい		0.03				
キャベツ	0.3	0.03	○・申			0.044, 0.082 (¥) (アルベシル酸塩)
芽キャベツ		0.03				
ケール		0.1				
こまつな		0.1				
きょうな		0.1				
チンゲンサイ		0.1				
カリフラワー		0.1				
ブロッコリー		0.1				
その他のあぶらな科野菜		0.1				
ごぼう		0.05				
サルシフィー		0.05				
アーティチョーク		0.1				
チコリ		0.1				
エンダイブ		0.1				
しゅんぎく		0.1				
レタス（サラダ菜及びちしゃを含む。）	0.5	0.1	○・申			0.096, 0.165 (¥) (アルベシル酸塩)
その他のきく科野菜		0.1				
たまねぎ	0.05	0.1	○			0.008, 0.012 (¥) (#) (アルベシル酸塩)
ねぎ（リーキを含む。）	0.04	0.1	○			<0.007～0.020 (#) (n=4) (酢酸塩)



食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
にんにく	0.1	0.1	○			0.02, 0.02(¥) (酢酸塩)
にら		0.1				
アスパラガス	0.5	0.1	○・申			<0.02, 0.18(¥)(#) (アルベシル酸塩)※1
わけぎ		0.1				
その他のゆり科野菜	0.05	0.1	○			<0.011, <0.011(¥) (らっきょう)(アルベシル酸塩)
にんじん	0.05	0.05	○			<0.003, 0.011(¥) (アルベシル酸塩)
パースニップ		0.05				
パセリ		0.1				
セロリ		0.1				
みつば		0.1				
その他のせり科野菜		0.1				
トマト	0.3	0.3	○			0.037, 0.064(¥) (アルベシル酸塩)
ピーマン		0.02				
なす	0.3	0.3	○			0.059~0.117(n=4) (アルベシル酸塩)
その他のなす科野菜		0.02				
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.2	0.3	○			0.01~0.08(n=6) (アルベシル酸塩)
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.3	0.3	○			0.03, 0.05, 0.11 (アルベシル酸塩)
しろうり	0.3	0.3	○			<0.02, 0.06(¥) (アルベシル酸塩)
すいか		0.2				
すいか (果皮を含む。)	0.2		○			0.04, 0.06, 0.08 (アルベシル酸塩)
メロン類果実		0.2				
メロン類果実 (果皮を含む。)	2		○			0.37, 0.40, 0.76 (アルベシル酸塩)
まくわうり		0.2				
その他のうり科野菜	0.5	0.3	○・申			0.14, 0.15(¥)(にがうり) (アルベシル酸塩)
ほうれんそう		0.1				
たけのこ		0.05				
オクラ		0.02				
しょうが		0.05				
未成熟えんどう		0.02				
未成熟いんげん		0.02				
えだまめ		0.02				
マッシュルーム		0.02				
しいたけ		0.02				
その他のきのこ類		0.02				
その他の野菜	0.1	0.1	○			<0.02, <0.02(¥) (やまのいも(むかご)) (アルベシル酸塩)
みかん		0.2				
みかん (外果皮を含む。)	2		○			0.41, 0.90(¥) (アルベシル酸塩)
なつみかんの果実全体	1	1	○			0.30, 0.46(¥) (酢酸塩)
レモン	2	1	○			(小粒柑橘参照)
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	2	1	○			(小粒柑橘参照)
グレープフルーツ	2	1	○			(小粒柑橘参照)
ライム	2	1	○			(小粒柑橘参照)
その他のかんきつ類果実	2	1	○			0.06~0.57(#)(n=4) (小粒柑橘)(アルベシル酸塩)

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
りんご	0.9	0.3	○			0.03~0.61 (#) (n=10) (酢酸塩)
日本なし	0.7	0.5	○			0.140~0.276 (n=6) (アルベシル酸塩)
西洋なし	0.7	0.5	○			(日本なし参照)
マルメロ	0.1	0.3	○			<0.02~0.06 (#) (n=10) (りんご) (酢酸塩) ※2
びわ		0.2				
びわ (果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	0.2		○			<0.02, 0.03 (¥) (アルベシル酸塩)
もも		0.2				
もも (果皮及び種子を含む。)	2		○			0.38, 0.74 (¥) (アルベシル酸塩)
ネクタリン	0.4	0.3	○			0.11~0.13 (n=4) (アルベシル酸塩)
あんず (アプリコットを含む。)	0.6	0.5	○			(うめ参照)
すもも (ブルーンを含む。)	0.6	0.5	○			0.12~0.273 (n=5) (アルベシル酸塩)
うめ	0.6	0.5	○			0.04~0.34 (n=7) (アルベシル酸塩)
おうとう (チェリーを含む。)	4	2	○			0.51~1.70 (n=4) (アルベシル酸塩)
いちご	0.5	0.5	○			0.133, 0.149 (¥) (アルベシル酸塩)
ラズベリー		0.5				
ブラックベリー		0.5				
ブルーベリー		0.5				
クランベリー		0.5				
ハックルベリー		0.5				
その他のベリー類果実		0.5				
ぶどう	0.9	0.5	○			0.10, 0.19, 0.40 (酢酸塩)
かき	0.3	0.3	○			0.043, 0.069 (¥) (#) (アルベシル酸塩)
バナナ		0.3				
キウイー		0.2				
キウイー (果皮を含む。)	5		○			2.50, 2.91 (¥) (アルベシル酸塩)
パパイヤ		0.3				
アボカド		0.3				
パイナップル		0.3				
グアバ		0.3				
マンゴー	1	0.3	○・申			0.24, 0.34 (¥) (#) (アルベシル酸塩)
パッションフルーツ		0.3				
なつめやし		0.5				
その他の果実	0.3	0.5	○			0.04, 0.06 (¥) (あけび) (アルベシル酸塩)
ひまわりの種子		0.02				
ごまの種子		0.02				
べにばなの種子		0.02				
綿実		0.02				
なたね		0.02				
その他のオイルシード		0.02				
ぎんなん		0.1				
くり	0.1	0.1	○			<0.02, <0.02 (¥) (酢酸塩)
ペカン		0.1				
アーモンド		0.1				
くるみ		0.1				
その他のナッツ類		0.1				

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
茶	10	1	○・申			2.0, 4.6(¥) (アルベシル酸塩)
コーヒー豆		0.02				
カカオ豆		0.02				
ホップ		0.02				
その他のスパイス	10	1	○・申			2.26, 3.54(¥)(みかん果皮) (アルベシル酸塩)
その他のハーブ		0.1				

平成17年11月29日厚生労働省告示第499号において新しく設定した基準値（暫定基準）については、網をつけて示した。  
申請（国内における登録、承認等の申請、インポートライセンス申請）以外の理由により本基準（暫定基準以外の基準）を見直す基準値案については、太枠線で囲んで示した。

「登録有無」の欄に「○」の記載があるものは、国内で農薬等としての使用が認められていることを示している。

「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内で農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。

(#) これらの作物残留試験は、登録又は申請の適用の範囲内で試験が行われていない。

(¥) 作物残留試験結果の最大値を基準値設定の根拠とした。

酢酸塩：イミノクタジン酢酸塩の作物残留試験成績を示す。

アルベシル酸塩：イミノクタジンアルベシル酸塩の作物残留試験成績を示す。

※1) 小豆類（いんげんまめ）及びアスパラガスについては残留濃度が定量下限値以上の場合はプロポーショナルティ（proportionality）の原則に基づき、散布濃度の比例性を考慮して換算した。

※2) マルメロについては農林水産省からの緊急登録理由書に基づき、りんごの作物残留試験の残留濃度（25.0%液剤、1500倍、5回散布、30～31日目）の1倍の値を用いて基準値を設定した。

イミノクタジンの推定摂取量 (単位: µg/人/day)

食品名	基準値案 (ppm)	暴露評価に 用いた数値 (ppm)	国民全体 (1歳以上) TMDI	国民全体 (1歳以上) EDI	幼児 (1~6歳) TMDI	幼児 (1~6歳) EDI	妊婦 TMDI	妊婦 EDI	高齢者 (65歳以上) TMDI	高齢者 (65歳以上) EDI
米(玄米をいう。)	0.03	0.009	4.9	1.4	2.6	0.7	3.2	0.9	5.4	1.6
小麦	0.09	0.024	5.4	1.5	4.0	1.1	6.2	1.7	4.5	1.2
大麦	1	0.346	5.3	1.8	4.4	1.5	8.8	3.0	4.4	1.5
ライ麦	1	0.346	0.1	0.0	0.1	0.0	0.5	0.2	0.1	0.0
その他の穀類	1	0.346	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.3	0.1
大豆	0.03	0.005	1.2	0.2	0.6	0.1	0.9	0.2	1.4	0.2
小豆類	0.02	0.004	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
えんどう	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
そら豆	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
らっかせい	0.05	0.01	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
その他の豆類	0.05	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ばいりしょ	0.02	0.003	0.8	0.1	0.7	0.1	0.8	0.1	0.7	0.1
やまいも(長いもをいう。)	0.02	0.005	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
くろき	0.2	0.026	6.5	0.8	5.5	0.7	8.2	1.0	6.6	0.8
キャベツ	0.3	0.063	7.2	1.5	3.5	0.7	5.7	1.2	7.1	1.5
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.5	0.131	4.8	1.3	2.2	0.6	5.7	1.5	4.6	1.2
たまねぎ	0.05	0.01	1.6	0.3	1.1	0.2	1.8	0.4	1.4	0.3
ねぎ(リーキを含む。)	0.04	0.013	0.4	0.1	0.1	0.0	0.3	0.1	0.4	0.1
にんにく	0.1	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0
アスパラガス	0.5	0.1	0.9	0.2	0.4	0.1	0.5	0.1	1.3	0.3
その他のゆり科野菜	0.05	0.011	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
にんじん	0.05	0.007	0.9	0.1	0.7	0.1	1.1	0.2	0.9	0.1
トマト	0.3	0.051	9.6	1.6	5.7	1.0	9.6	1.6	11.0	1.8
なす	0.3	0.082	3.6	1.0	0.6	0.2	3.0	0.8	5.1	1.4
きゅうり(カーキンを含む。)	0.2	0.048	4.1	1.0	1.9	0.5	2.8	0.7	5.1	1.2
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.3	0.063	2.8	0.6	1.1	0.2	2.4	0.5	3.9	0.8
しろうり	0.3	0.04	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
すいか(果皮を含む。)	0.2	0.01	1.5	0.1	1.1	0.1	2.9	0.1	2.3	0.1
メロン類果実(果皮を含む。)	2	0.013	7.0	0.0	5.4	0.0	8.8	0.1	8.4	0.1
その他のうり科野菜	0.5	0.145	1.4	0.4	0.6	0.2	0.3	0.1	1.7	0.5
その他の野菜	0.1	0.02	1.3	0.3	0.6	0.1	1.0	0.2	1.4	0.3
みかん(外果皮を含む。)	2	0.04	35.6	0.7	32.8	0.7	1.2	0.0	32.4	1.0
なつみかんの果実全体	1	0.023	1.3	0.0	0.7	0.0	4.8	0.1	2.1	0.0
レモン	2	0.020	1.0	0.0	0.2	0.0	0.4	0.0	1.2	0.0
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	2	0.020	14.0	0.1	29.2	0.3	25.0	0.2	8.4	0.1
グレープフルーツ	2	0.020	8.4	0.1	4.6	0.0	17.8	0.2	7.0	0.1
ライム	2	0.020	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0
その他のかんきつ類果実	2	0.020	11.8	0.1	5.4	0.1	5.0	0.0	19.0	0.2
りんご	0.9	0.231	21.8	5.6	27.8	7.1	16.9	4.3	29.2	7.5
日本なし	0.7	0.216	4.5	1.4	2.4	0.7	6.4	2.0	5.5	1.7
西洋なし	0.7	0.216	0.4	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.1
マルメロ	0.1	0.03	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	0.2	0.02	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.0	0.1	0.0
もも(果皮及び種子を含む。)	2	0.022	6.8	0.1	7.4	0.1	10.6	0.1	8.8	0.1
ネクタリン	0.4	0.12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
あんず(アブリヨットを含む。)	0.6	0.116	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0
すもも(プルーンを含む。)	0.6	0.191	0.7	0.2	0.4	0.1	0.4	0.1	0.7	0.2
うめ	0.6	0.116	0.8	0.2	0.2	0.0	0.4	0.1	1.1	0.2
おうとう(チェリーを含む。)	4	1.069	1.6	0.4	2.8	0.7	0.4	0.1	1.2	0.3
いちじく	0.5	0.141	2.7	0.8	3.9	1.1	2.0	0.7	3.0	0.8
ぶどう	0.9	0.23	7.8	2.0	7.4	1.9	18.2	4.6	8.1	2.1
かき	0.3	0.056	3.0	0.6	0.5	0.1	1.2	0.2	5.5	1.0
キウイ(果皮を含む。)	5	0.02	11.0	0.0	7.0	0.0	11.5	0.0	14.5	0.1
マンゴ	1	0.29	0.3	0.1	0.3	0.1	0.1	0.0	0.3	0.1
その他の果実	0.3	0.05	0.4	0.1	0.1	0.0	0.3	0.0	0.5	0.1
くり	0.1	0.02	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
茶	10	3.3	66.0	21.8	10.0	3.3	37.0	12.2	94.0	31.0
その他のスパイス	10	2.9	1.0	0.3	1.0	0.3	1.0	0.3	2.0	0.6
計			273.3	49.3	187.9	25.1	236.7	40.4	344.0	62.9
ADI比(%)			215.6	38.9	495.0	66.3	175.9	30.0	266.6	48.8

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

TMDI試算法: 基準値案×各食品の平均摂取量

EDI: 推定1日摂取量 (Estimated Daily Intake)

EDI試算法: 作物残留試験成績の平均値×各食品の平均摂取量

「なつみかんの果実全体」「レモン」「オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)」 「グレープフルーツ」「ライム」及び「その他のかんきつ類果実」については、みかんの作物残留試験成績より算出した可食部係数(0.061)を乗じた値を使用した。

イミノクタジンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
米(玄米)	米	0.03	○ 0.0075	0.0	0
小麦	小麦	0.09	○ 0.02	0.0	0
大麦	大麦	1	○ 0.346	0.3	1
	麦茶	1	○ 0.346	0.3	1
大豆	大豆	0.03	○ 0.003	0.0	0
小豆類	いんげん	0.02	○ 0.004	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.05	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.02	○ 0.02	0.2	0
やまいも(長いもをいう。)	やまいも	0.02	○ 0.02	0.2	0
キャベツ	キャベツ	0.3	○ 0.3	2.9	5
レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	レタス類	0.5	○ 0.5	2.8	5
たまねぎ	たまねぎ	0.05	○ 0.05	0.4	1
ねぎ(リーキを含む。)	ねぎ	0.04	○ 0.02	0.1	0
にんにく	にんにく	0.1	○ 0.1	0.1	0
アスパラガス	アスパラガス	0.5	○ 0.5	1.0	2
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	0.05	○ 0.05	0.1	0
	らっきょう	0.05	○ 0.05	0.1	0
にんじん	にんじん	0.05	○ 0.05	0.2	0
	にんじんジュース	0.05	○ 0.007	0.0	0
トマト	トマト	0.3	○ 0.3	3.3	6
なす	なす	0.3	○ 0.117	0.8	2
きゅうり(ガーキンを含む。)	きゅうり	0.2	○ 0.08	0.5	1
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	かぼちゃ	0.3	○ 0.3	2.9	5
	ズッキーニ	0.3	○ 0.3	2.2	4
しろうり	しろうり	0.3	○ 0.3	2.5	5
すいか(果皮を含む。)	すいか	0.2	○ 0.2	6.6	10
メロン類果実(果皮を含む。)	メロン	2	○ 0.04	0.7	1
その他のうり科野菜	とうがん	0.5	○ 0.5	8.5	20
	にがうり	0.5	○ 0.5	4.0	8
その他の野菜	ずいき	0.1	○ 0.1	1.0	2
	もやし	0.1	○ 0.1	0.2	0
	れんこん	0.1	○ 0.1	0.6	1
	そら豆(生)	0.1	○ 0.1	0.3	1
みかん(外果皮を含む。)	みかん	2	○ 0.2	1.9	4
なつみかんの果実全体	なつみかん	1	○ 1	12.4	20
レモン	レモン	2	○ 0.57	1.2	2
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)	オレンジ	2	○ 0.57	5.4	10
	オレンジ果汁	2	○ 0.33	3.3	6
グレープフルーツ	グレープフルーツ	2	○ 0.57	9.8	20
	きんかん	2	○ 0.57	1.4	3
	ぼんかん	2	○ 0.57	6.0	10
	ゆず	2	○ 0.57	0.9	2
りんご	すだち	2	○ 0.57	0.9	2
	りんご	0.9	○ 0.61	8.7	20
	りんご果汁	0.9	○ 0.22	2.3	4
日本なし	日本なし	0.7	○ 0.276	4.2	8
西洋なし	西洋なし	0.7	○ 0.276	3.9	7
びわ(果梗を除き、果皮及び種子を含む。)	びわ	0.2	○ 0.2	1.4	3
もも(果皮及び種子を含む。)	もも	2	○ 0.2	2.7	5
すもも(ブルーンを含む。)	ブルーン	0.6	○ 0.273	1.6	3
うめ	うめ	0.6	○ 0.34	0.5	1
おうとう(チェリーを含む。)	おうとう	4	○ 1.7	4.2	8
いちご	いちご	0.5	○ 0.5	1.9	4
ぶどう	ぶどう	0.9	○ 0.9	12.1	20
かき	かき	0.3	○ 0.3	4.3	8
キウイ(果皮を含む。)	キウイ	5	○ 5	28.3	50
マンゴー	マンゴー	1	○ 1	13.5	30

## イミノクタジンの推定摂取量（短期）：国民全体(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重/day)	ESTI/ARFD (%)
その他の果実	いちじく	0.3	0.3	2.3	4
くり	くり	0.1	○ 0.02	0.0	0
茶	緑茶類	10	○ 3.3	2.0	4

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度（HR）又は中央値（STMR）を用いて短期摂取量を推計した。

メロン類果実（果皮を含む。）、みかん（外果皮を含む。）及びもも（果皮及び種子を含む。）については、果肉の作物残留試験結果より算出した果肉の基準値に相当する値を用いて短期摂取量を推計した。

## イミノクタジンの推定摂取量（短期）：幼小児（1～6歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ( $\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
米 (玄米)	米	0.03	○ 0.0075	0.1	0
小麦	小麦	0.09	○ 0.02	0.1	0
大麦	大麦	1	○ 0.346	0.2	0
	麦茶	1	○ 0.346	0.6	1
大豆	大豆	0.03	○ 0.003	0.0	0
らっかせい	らっかせい	0.05	○ 0.01	0.0	0
ばれいしょ	ばれいしょ	0.02	0.02	0.5	1
やまいも (長いもをいう。)	やまいも	0.02	0.02	0.3	1
キャベツ	キャベツ	0.3	0.3	4.7	9
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	レタス類	0.5	0.5	4.9	9
たまねぎ	たまねぎ	0.05	0.05	0.9	2
ねぎ (リーキを含む。)	ねぎ	0.04	○ 0.02	0.1	0
にんにく	にんにく	0.1	0.1	0.1	0
にんじん	にんじん	0.05	0.05	0.5	1
トマト	トマト	0.3	0.3	8.1	20
なす	なす	0.3	○ 0.117	1.8	3
きゅうり (ガーキンを含む。)	きゅうり	0.2	○ 0.08	1.2	2
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	かぼちゃ	0.3	0.3	4.8	9
すいか (果皮を含む。)	すいか	0.2	0.2	17.3	30
メロン類果実 (果皮を含む。)	メロン	2	0.04	1.2	2
その他の野菜	もやし	0.1	0.1	0.4	1
	れんこん	0.1	0.1	1.0	2
みかん (外果皮を含む。)	みかん	2	0.2	5.5	10
オレンジ (ネーブルオレンジを含む。)	オレンジ	2	○ 0.57	15.4	30
	オレンジ果汁	2	○ 0.33	5.9	10
りんご	りんご	0.9	○ 0.61	19.6	40
	りんご果汁	0.9	○ 0.22	7.4	10
日本なし	日本なし	0.7	○ 0.276	7.9	10
もも (果皮及び種子を含む。)	もも	2	0.2	8.5	20
うめ	うめ	0.6	○ 0.34	1.2	2
いちご	いちご	0.5	0.5	5.4	10
ぶどう	ぶどう	0.9	0.9	27.6	50
かき	かき	0.3	0.3	6.3	10
茶	緑茶類	10	○ 3.3	3.2	6

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD (%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

○：作物残留試験における最高残留濃度 (HR) 又は中央値 (STMR) を用いて短期摂取量を推計した。

メロン類果実 (果皮を含む。)、みかん (外果皮を含む。)、及びもも (果皮及び種子を含む。) については、果肉の作物残留試験結果より算出した果肉の基準値に相当する値を用いて短期摂取量を推計した。

(参考)

これまでの経緯

昭和58年12月16日	初回農薬登録
平成17年11月29日	残留農薬基準告示
平成21年12月14日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：大麦、ライ麦等）
平成22年 1月25日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
令和 元年 6月 4日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
令和 元年10月10日	薬事・食品衛生審議会へ諮問
令和 元年10月11日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

○ 穂山 浩	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
石井 里枝	埼玉県衛生研究所副所長（兼）食品微生物検査室長
井之上 浩一	学校法人立命館立命館大学薬学部薬学科臨床分析化学研究室准教授
大山 和俊	一般財団法人残留農薬研究所化学部長
折戸 謙介	学校法人麻布獣医学園麻布大学獣医学部生理学教授
魏 民	公立大学法人大阪大阪市立大学大学院医学研究科環境リスク評価学准教授
佐々木 一昭	国立大学法人東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門准教授
佐藤 清	元一般財団法人残留農薬研究所理事
佐野 元彦	国立大学法人東京海洋大学学術研究院海洋生物資源学部門教授
瀧本 秀美	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所栄養疫学・食育研究部長
永山 敏廣	学校法人明治薬科大学薬学部特任教授
根本 了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
二村 睦子	日本生活協同組合連合会組織推進本部長
宮井 俊一	元 一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
吉成 浩一	静岡県公立大学法人静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授

（○：部会長）



答申（案）

イミノクタジン

今回基準値を設定するイミノクタジンとは、イミノクタジン、イミノクタジンアルベシル酸塩をイミノクタジンに換算したもの及びイミノクタジン酢酸塩をイミノクタジンに換算したものの和をいう。

食品名	残留基準値 ppm
米（玄米をいう。）	0.03
小麦	0.09
大麦	1
ライ麦	1
その他の穀類 <sup>注1)</sup>	1
大豆	0.03
小豆類 <sup>注2)</sup>	0.02
えんどう	0.05
そら豆	0.05
らっかせい	0.05
その他の豆類 <sup>注3)</sup>	0.05
ばれいしょ	0.02
やまいも（長いもをいう。）	0.02
てんさい	0.2
キャベツ	0.3
レタス（サラダ菜及びちしやを含む。）	0.5
たまねぎ	0.05
ねぎ（リーキを含む。）	0.04
にんにく	0.1
アスパラガス	0.5
その他のゆり科野菜 <sup>注4)</sup>	0.05
にんじん	0.05
トマト	0.3
なす	0.3
きゅうり（ガーキンを含む。）	0.2
かぼちゃ（スカッシュを含む。）	0.3
しろうり	0.3
すいか（果皮を含む。）	0.2
メロン類果実（果皮を含む。）	2
その他のうり科野菜 <sup>注5)</sup>	0.5
その他の野菜 <sup>注6)</sup>	0.1
みかん（外果皮を含む。）	2
なつみかんの果実全体	1
レモン	2
オレンジ（ネーブルオレンジを含む。）	2
グレープフルーツ	2

食品名	残留基準値 ppm
ライム	2
その他のかんきつ類果実 <sup>注7)</sup>	2
りんご	0.9
日本なし	0.7
西洋なし	0.7
マルメロ	0.1
びわ（果梗を除き、果皮及び種子を含む。）	0.2
もも（果皮及び種子を含む。）	2
ネクタリン	0.4
あんず（アプリコットを含む。）	0.6
すもも（プルーンを含む。）	0.6
うめ	0.6
おうとう（チェリーを含む。）	4
いちご	0.5
ぶどう	0.9
かき	0.3
キウイー（果皮を含む。）	5
マンゴー	1
その他の果実 <sup>注8)</sup>	0.3
くり	0.1
茶	10
その他のスパイス <sup>注9)</sup>	10

注1)「その他の穀類」とは、穀類のうち、米(玄米をいう。)、小麦、大麦、ライ麦、とうもろこし及びそば以外のものをいう。

注2)「小豆類」には、いんげん、ささげ、サルタニ豆、サルタピア豆、バター豆、ペギア豆、ホワイト豆、ライマ豆及びレンズ豆を含む。

注3)「その他の豆類」とは、豆類のうち、大豆、小豆類、えんどう、そら豆、らっかせい及びスパイス以外のものをいう。

注4)「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ(リーキを含む。)、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。

注5)「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり(ガーキンを含む。)、かぼちゃ(スカッシュを含む。)、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。

注6)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注7)「その他のかんきつ類果実」とは、かんきつ類果実のうち、みかん、なつみかん、なつみかんの外果皮、なつみかんの果実全体、レモン、オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)、グレープフルーツ、ライム及びスパイス以外のものをいう。

注8)「その他の果実」とは、果実のうち、かんきつ類果実、りんご、日本なし、西洋なし、マルメロ、びわ、もも、ネクタリン、あんず(アプリコットを含む。)、すもも(プルーンを含む。)、うめ、おうとう(チェリーを含む。)、ベリー類果実、ぶどう、かき、バナナ、キウイー、パパイヤ、アボカド、パイナップル、グアバ、マンゴー、パッションフルーツ、なつめやし及びスパイス以外のものをいう。

注9)「その他のスパイス」とは、スパイスのうち、西洋わさび、わさびの根茎、にんにく、とうがらし、パプリカ、しょうが、レモンの果皮、オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)の果皮、ゆずの果皮及びごまの種子以外のものをいう。